

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが
できる状態になった時に係る
使用前検査成績書

施設名：その他発電用原子炉の附属施設

系統名：非常用電源設備

非常用発電装置 燃料設備

補機駆動用燃料設備（非常用電源設備及び補助ボイラーに係る
ものを除く。）

燃料貯蔵設備

要領書番号：原規規収第1712152号1-28-1

令和2年6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る
使用前検査
- 3 検査申請 使用前検査申請番号
関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第640号(2020年3月24日)
関原発第427号(平成30年3月16日) 関原発第650号(2020年3月30日)
関原発第62号(平成30年4月20日) 関原発第30号(2020年4月7日)
関原発第158号(平成30年6月25日)
関原発第201号(平成30年7月4日)
関原発第414号(平成30年12月5日)
関原発第517号(平成31年2月6日)
関原発第61号(令和元年5月16日)
関原発第121号(令和元年6月28日)
関原発第167号(令和元年7月25日)
関原発第216号(令和元年9月2日)
- 4 検査期日 自 令和元年12月13日
至 令和2年6月5日
- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生
- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設
その他発電用原子炉の附属施設
非常用電源設備
非常用発電装置
燃料設備
容器
常設
燃料油貯蔵タンク^{*1} 2(機関1台につき1)
主配管
常設^{*2} 一式
燃料油貯蔵タンク～燃料油移送ポンプ^{*2} 一式
※1: その他発電用原子炉の附属施設(補機駆動用燃料設備)
のうち燃料貯蔵設備と兼用
※2: その他発電用原子炉の附属施設(補機駆動用燃料設備)
と兼用
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
系統性能検査 燃料給油検査 容量確認検査	良	令和元年12月13日	2019年12月13日
		前田 剛	ボイラ-タービン 主任技術者

8 特記事項

存 ✓

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 燃料給油検査記録
- 3 容量確認検査記録
- 4 検査用計器一覧表

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者
系統性能検査 燃料給油検査 容量確認検査	良	令和 2 年 6 月 5 日	2020年 6 月 5 日
		大江 勇人	ボイラー・タービン主任技術者

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 燃料給油検査記録
- 3 容量確認検査記録
- 4 検査用計器一覧表

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 12月13日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和2年 6月5日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 12月13日	良	
		令和2年 6月5日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 12月13日	良	
		令和2年 6月5日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

系統性能検査

燃料給油検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 12月13日	良	
		令和2年 6月5日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 12月13日	良	
		令和2年 6月5日	良	
		年 月 日		
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	令和元年 12月13日	良	
	立会/ 記録確認	令和2年 6月5日	良	
	立会/ 記録確認	年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

系統性能検査

容量確認検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 12月13日	良	
		令和2年 6月5日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 12月13日	良	
		令和2年 6月5日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 12月13日	良	
		令和2年 6月5日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機

燃料給油検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備
 主配管 常設：一式

判定基準：重大事故等時の系統構成において、異常なく燃料給油できること。

検査対象	検査 年月日	検査 結果	検査方法
A燃料油貯蔵タンク ～ A燃料油移送ポンプ※1	令和元年 12月13日	良	目視 記録確認

備考

※1：その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）と兼用

~~・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。~~~~※2：適合性確認検査成績書の識別番号~~

美浜発電所第3号機

燃料給油検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備
 主配管 常設：一式

判定基準：重大事故等時の系統構成において、異常なく燃料給油できること。

検査対象	検査 年月日	検査 結果	検査方法
B燃料油貯蔵タンク ～ B燃料油移送ポンプ ^{※1}	令和2年 6月5日	良	目視/ 記録確認

備考

※1：その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）と兼用

・記録確認は、申請者の品質記録（※2）による。

※2：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0508

美浜発電所第3号機

容量確認検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備
容器 常設 燃料油貯蔵タンク：2個

判定基準：容量が許容値を満足していること。

検査対象 名称	容量 (m ³)			検査年月日	検査 結果	検査方法
	工事計画 記載値	許容値 ^{※3}	測定値			
A燃料油貯蔵タンク ^{※1}	■ (200 ^{※2})	■	202.533	令和元年 12月13日	良	目視 記録確認

備考

※1：その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）のうち燃料貯蔵設備と兼用

※2：公称値

※3：許容値は工事計画による。

~~※記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。~~~~※4：適合性確認検査成績書の識別番号。~~

美浜発電所第3号機

容量確認検査記録

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備
容器 常設 燃料油貯蔵タンク：2個

判定基準：容量が許容値を満足していること。

検査対象 名称	容量 (m ³)			検査年月日	検査 結果	検査方法
	工事計画 記載値	許容値 ^{※3}	測定値			
B燃料油貯蔵タンク ^{※1}	■ (200 ^{※2})	■	/	令和2年 6月5日	良	目視/ 記録確認

備考

※1：その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）のうち燃料貯蔵設備と兼用

※2：公称値

※3：許容値は工事計画による。

・記録確認は、申請者の品質記録（※4）による。

※4：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0508

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査用計器一覧表

検査年月日: 令和元年12月13日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
容量確認検査	コバックス				2019.11.27 2021.11.26	
以下余白						

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-28-2

令和 2 年 11 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-28-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 8 月 27 日
至 令和 2 年 11 月 12 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録





検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号 (平成29年12月15日) 関原発第427号 (平成30年 3月16日) 関原発第 62号 (平成30年 4月20日) 関原発第158号 (平成30年 6月25日) 関原発第201号 (平成30年 7月 4日) 関原発第414号 (平成30年12月 5日) 関原発第517号 (平成31年 2月 6日) 関原発第 61号 (2019年 5月16日) 関原発第121号 (2019年 6月28日) 関原発第167号 (2019年 7月25日) 関原発第216号 (2019年 9月 2日) 関原発第640号 (2020年 3月24日) 関原発第650号 (2020年 3月30日) 関原発第 30号 (2020年 4月 7日) 関原発第239号 (2020年 8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和 2 年 8 月 27 日	良	上田 洋  福富 晋一 	ぷいりー・あーびー / 主任技術者 	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 27 日

検査場所：美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 27 日

検査場所：美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日：令和 5 年 8 月 27 日

検査場所：美浜発電所

検査結果

検 査 対 象			
その他発電用原子炉の付属施設 非常用電源設備 非常用発電装置 燃料設備 可般式オイルポンプ 主配管			
		別添1参照	
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 運転性能検査 燃料給油検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-1017 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 27 日

検査場所：美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
可搬式オイルポンプ	運転性能検査	別添 2 参照	良	目視
主配管	燃料給油検査	別添 2 参照	良	
以下余白				
備考：可搬式オイルポンプ予備以外を確認				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日：令和 2 年 8 月 27 日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
運転性能検査	流量計				2020. 7. 9 2021. 7. 8	
運転性能検査	圧力計				2020. 6. 23 2021. 6. 22	
運転性能検査	ストップウ オッチ				2020. 6. 24 2021. 6. 23	
以下余白						

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(4) 燃料設備に係る次の事項

イ ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・可搬型

			変更前	変更後	
名 称				可搬式オイルポンプ	
ポンプ	種 類	—		歯車式	
	容 量 (注1)	m ³ /h/個		■ (1.2 (注2))	
	揚 程 (注1)	m		■ (102 (注2))	
	最高使用圧力 (注1)	MPa		1.05	
	最高使用温度 (注1)	℃		40	
	主要寸法	吸 込 口 径	mm		27.2 (注2)
		吐 出 口 径	mm		27.2 (注2)
		た て	mm		162 (注2)
		横	mm		329 (注2)
		高 さ	mm		103 (注2)
		車 両 全 長	mm		4,690 (注2)
		車 両 全 幅	mm		1,695 (注2)
		車 両 高 さ	mm		1,990 (注2)
	材 料	ケーシング	—		FC250
	個 数	—			1 (予備1)
取 付 箇 所				保管場所： ■ 取付箇所： ■	

(2/5)

原 動 機	種	類	—	三相誘導電動機
	出	力	kW/個	1.5
	個	数	—	1 (予備1)
	取	付	箇	所

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

(注3) 燃料油の吸入箇所を示す。

変更後							
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	(注7) 燃料設備 可搬式オイルポンプ 入ロライン接続用 ■mホース	(注3) 0.78	(注3) 40	(注4) 2B	(注5) -	(ジャケット部) 耐油・耐候性 ゴム (内張り部) 耐油性ゴム、 合成繊維、 ワイヤー	保管場所 (注8) : ■■■■■ 取付箇所 : ■■■■■

変更後							
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	燃料設備 可搬式オイルポンプ 出口ライン接続用 [redacted] ポース	(注3) 1.0	(注3) 40	(注4) 1B	(注5) -	耐油・耐候性 ゴム	保管場所 (注9): [redacted] 取付箇所: [redacted]

(注1) その他発電用原子炉の附属施設 (補機駆動用燃料設備) と兼用

(注2) タンクローリーの附属機器である。

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注5) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

- (注6) タンクローリー1台当たり■本を保管する。
- (注7) 可搬式オイルポンプの附属機器である。
- (注8) 可搬式オイルポンプ■台当たり1本を保管する。
- (注9) 当該ホース■本（必要本数■m：■本、■m：■本に予備各1本を加えた本数）以上を保管する。
- (注10) 公称値
- (注11) 当該配管■本（必要本数に予備■本を加えた本数）以上を保管する。

別添2
(1/2)

ポンプ運転性能検査

検査対象	容量 (m ³ /h/個)	
	許容値	測定値
1号機可搬式オイルポンプ	<div style="background-color: black; width: 80px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> (1.2 ^{*2})	1.6
備考 ※1：重大事故等時における使用時の値 ※2：公称値		

検査対象	揚程 (m)	
	許容値	測定値
1号機可搬式オイルポンプ	<div style="background-color: black; width: 80px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> (102 ^{*2})	118
備考 ※1：重大事故等時における使用時の値 ※2：公称値		

燃料給油検査

燃料設備 主配管	可搬式オイルポンプ 入口ライン接続用 ■ mホース	可搬式オイルポンプ 出口ライン接続用 ■ mホース	可搬式オイルポンプ 出口ライン接続用 ■ mホース
識別番号	101	102	104、105、106 107

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 11月12日	良	山形英男	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラ-タービン主任技術者 [Redacted] 電気主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日：令和2年 11月 12日

検査場所：美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-28-2

検査年月日：令和2年 11月 12日

検査場所：美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良 ー	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良 ー	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良 ー	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良 ー	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号: 1-28-2

検査年月日: 令和2年 11月 12日

検査場所: 美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 補機駆動用燃料設備 <p style="text-align: center;">別添1参照</p>			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統性能検査 ・ 運転性能検査 ・ 燃料給油検査 ・ 容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: fit-content; margin: 5px auto; padding: 2px 10px; text-align: center;">記録確認</div>
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 <li style="padding-left: 20px;">※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0424、M3-3-0509 M3-3-0512、M3-3-0514 M3-3-0522、M3-3-1036 <li style="padding-left: 20px;">・ 目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 			

その他発電用原子炉の附属施設

1 非常用電源設備

2 非常用発電装置に係る次の事項

(2) 内燃機関に係る次の事項

ホ 燃料ダイタング又はサービスタンクの種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・常設

(空冷式非常用発電装置)

名称		変更前	変更後
種類	類		燃料油サービスタンク
容量	量 (注1) ℓ/個		1,494 以上 (1,660.0 (注2)) 角形
最高使用圧力	(注1)		大気圧
最高使用温度	(注1) ℃		50
主要寸法	た		1,050 (注2)
	横		1,480 (注2)
	高		1,309 (注2)
材料	胴板		SUS316
	底板		SUS316L
個	数		2 (機関1台につき1)
取付箇所	系 (ライン名)		A燃料油サービスタンク A空冷式非常用発電装置
	設置床		B燃料油サービスタンク B空冷式非常用発電装置
	溢水防護上の区画番号		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 公称値

- ・可搬型
(電源車)

			変更前	変更後
名称				燃料タンク ^(注1)
種類		—		角形
容量 ^(注2)		ℓ/個		441 以上 (490 ^(注3))
最高使用圧力 ^(注2)		—		大気圧
最高使用温度 ^(注2)		℃		40
主要寸法	た	て	mm	1,200 ^(注3)
		横	mm	880 ^(注3)
	高	さ	mm	500 ^(注3)
材料		—		SPCC
個数		—		1 ^(注4)
取付箇所		—		

(注1) 電源車の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 電源車1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車(緊急時対策所用))

			変更前	変更後
名称				燃料タンク ^(注1)
種類	—			角形
容量 ^(注2)	ℓ/個			446以上(495 ^(注3))
最高使用圧力 ^(注2)	—			大気圧
最高使用温度 ^(注2)	℃			40
主要寸法	た	て	mm	1,475 ^(注3)
	横		mm	1,080 ^(注3)
	高	さ	mm	325 ^(注3)
材料	—			SPCC
個数	—			2 ^(注4)
取付箇所	—			

(注1) 電源車(緊急時対策所用)の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 電源車(緊急時対策所用)1台当たりの個数を示す。

・可搬型

(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))

			変更前	変更後
名称				燃料タンク ^(注1)
種類	—			角形
容量 ^(注2)	ℓ/個			441 以上 (490 ^(注3))
最高使用圧力 ^(注2)	—			大気圧
最高使用温度 ^(注2)	℃			40
主要寸法	た	て	—	1,200 ^(注3)
	横			880 ^(注3)
	高	さ		500 ^(注3)
材料	—			SPCC
個数	—			1 ^(注4)
取付箇所	—			

(注1) 電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)1台当たりの個数を示す。

(4) 燃料設備に係る次の事項

イ ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・常設 (1/2)

名称		変更前	変更後
種類	燃料油移送ポンプ (注1,2)		歯車式
容量	m ³ /h/個		■ (3 (注3))
吐出圧力	MPa		■ (0.5 (注3))
最高使用圧力	MPa		0.6
最高使用温度	℃		40
主要寸法	吸込口径		40 (注3)
	吐出口径		40 (注3)
	たて		190 (注3)
高さ	横		188 (注3)
	高さ		85 (注3)
材料	ケーシング		FC25
個数			2 (機関1台につき1)

(2/2)

		変更前		変更後	
ポンプ	系統名	-		A燃料油移送ポンプ	B燃料油移送ポンプ
	取付箇所	-		ディーゼル発電機燃料油ライン	ディーゼル発電機燃料油ライン
	設置床	-			
	溢水防護上の区画番号	-			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-			
	種類	-			三相誘導電動機
原動機	出力	-			1.5
	個数	-			2
	取付箇所	-			

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）と兼用

(注3) 公称値


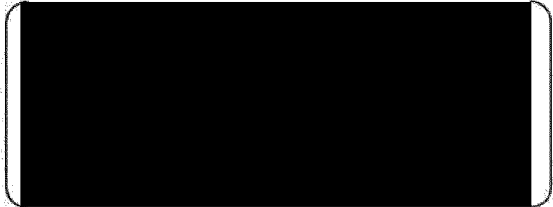
ロ 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・可搬型

(1/2)

		変更前	変更後
名称			タンクローリー (注1)
種	類	—	だ円型横置
容	量 (注2)	ℓ	■■■■以上
		ℓ/個	3,440 (注3)
最高使用圧力 (注2)		kPa	24
最高使用温度 (注2)		℃	■■■■
主要寸法	胴 長 径	mm	1,800 (注3)
	胴 短 径	mm	930 (注3)
	胴 板 厚 さ	mm	■■■■ (3.2 (注3))
	鏡 板 厚 さ	mm	■■■■ (3.2 (注3))
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1,800 (注3,4) 50 (注3,5)
	排出口管台外径	mm	140.5 (注3)
	排出口管台厚さ	mm	■■■■ (4.5 (注3))
	マンホール口径	mm	400 (注3)
	マンホール管台厚さ	mm	■■■■ (3.2 (注3))
	マンホールふた厚さ	mm	■■■■ (3.2 (注3))
	全 長	mm	3,330 (注3)
	車 両 全 長	mm	5,940 (注3)
	車 両 全 幅	mm	2,200 (注3)
車 両 高 さ	mm	2,410 (注3)	
材 料	胴 板	—	SS400
	鏡 板	—	SS400
	マンホールふた	—	SAPH440
個	数	—	2 (予備1)

(2/2)

		変更前	変更後
取	付	—	保管場所： 
所	—	—	取付箇所： 

(注1) その他発電用原子炉の附属施設（補機駆動用燃料設備）のうち燃料貯蔵設備と兼用

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 鏡板の内面における長径を示す。

(注5) 鏡板の内面における短径の2分の1を示す。

(注6) 燃料油の吸入箇所を示す。

ニ 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
						(注1)			(注2,3)	(注2,3)	(注2)
						燃料油貯蔵 タンク			48.6	3.7	STPG38
						～	0.6	40	60.5	3.9	STPG38
						燃料油移送 ポンプ			60.5	3.9	STPG370
						燃料設備			(注3)	(注3)	
						(注1,2)			89.1	5.5	STPG370
						燃料油移送 ポンプ			(注3)	(注3)	STPG38
						～	0.6	40	42.7	3.6	STPG38
						燃料油移送 ポンプ			(注3)	(注3)	STPG38
						出口配管分岐点			48.6	3.7	STPG38

変更前					変更後										
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材	料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材	料
							燃料設備								
							燃料油移送 ポンプ 出口配管分岐点 ～ 燃料油サービス タンク		0.6	40	(FE2,3) 42.7	(FE2,3) 3.6	(FE2) STPG38	(FE3) 42.7	(FE3) 3.6

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
						(FE2) 燃料油サービスタ ンク ～ 燃料油第1コシ器	0.6	40	(FE3) 48.6	(FE3) 3.7	STPG38
						(FE2) 燃料油第1コシ器 ～ ディーゼル機関	0.6	40	(FE3) 42.7	(FE3) 3.6	STPG38
						(FE2) ディーゼル機関 ～ 燃料油第2コシ器	0.6	40	(FE3) 42.7	(FE3) 3.6	STPG38
						燃料設備			(FE3) 48.6	(FE3) 3.7	STPG38

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
						(注2) 燃料油第2コシ器 ～ ディーゼル機関	0.6	40	42.7	3.6	STPG38
						(注1) 燃料油貯蔵 タンク ～ 燃料油取出口	0.6	40	60.5	3.9	STPG370
						(注1) 燃料油貯蔵 タンク ～ 給排油口	0.6	40	89.1	5.5	STPG370
燃料設備											

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材	料
燃料設備							
	(注1) 燃料油移送 ポンプ 出口配管分岐点 ～ 屋外燃料油取出 ライン用短管 接続口(上流側)	(注4) 0.6	(注4) 40	(注3) 42.7	(注3) 3.6	(注3) STPG370	
	(注1) 屋外燃料油取出 ライン用短管 接続口(下流側) ～ 屋外燃料油 取出口	(注4) 0.6	(注4) 40	(注3) 60.5	(注3) 3.9	(注3) STPG370	

(注1) その他発電用原子炉の附属施設(補機駆動用燃料設備)と兼用

(注2) 本設備は既存の設備である。

(注3) 公称値

(注4) 重大事故等時における使用時の値

・可搬型

変更後							
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	<small>(注1, 2)</small> タンクローリー 給油ライン接続用 ■ホース (燃料油 貯蔵タンク用)	<small>(注3)</small> 0.78	<small>(注3)</small> 40	<small>(注4)</small> 2B	<small>(注5)</small> -	(ジャケット部) 耐油・耐候性 ゴム (内張り部) 耐油性ゴム、 合成繊維、 ワイヤー	保管場所 <small>(注6)</small> : ■ 取付箇所 : ■

変更後							
変更前	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	取付箇所
-	<small>(7E1.2)</small> タンクローリー 給油ライン接続用 ■ホース 燃料設備	<small>(7E3)</small> 1.0	<small>(7E3)</small> 40	<small>(7E4)</small> 1B	<small>(7E5)</small> -	(ジヤケット部) 耐油・耐老化 性ゴム (内張り部) 耐油・耐老化 性ゴム、 合成繊維糸	保管場所 <small>(7E6)</small> : ■ 取付箇所 : ■

変更前		変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	取付箇所	
燃料設備	0.6	40	60.5	3.9	STPG370	保管場所 (注1) : [Redacted]	
						取付箇所 : [Redacted]	

(注1) その他発電用原子炉の附属施設(補機駆動用燃料設備)と兼用

(注2) タンクローリーの附属機器である。

(注3) 重大事故等時における使用時の値

(注4) メーカーにて規定する呼び径を示す。

(注5) メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。

(注6) タンクローリー1台当たり■本を保管する。

(注7) 可搬式オイルポンプの附属機器である。

(注8) 可搬式オイルポンプ■台当たり1本を保管する。

(注9) 当該ホース■本（必要本数■m：■本、■m：■本に予備各1本を加えた本数）以上を保管する。

(注10) 公称値

(注11) 当該配管■本（必要本数に予備■本を加えた本数）以上を保管する。

- 6 補機駆動用燃料設備 (非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。)
- 1 燃料貯蔵設備に係る次の事項
- (1) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所

・常設 (1/2)

名称		変更前	変更後
種類	—		(注1) ディーゼル消火ポンプ燃料サービスタンク (1・2・3号機共用)
容量	ℓ/個		たて置円筒形 245 以上 (注2)
最高使用圧力	—		大気圧
最高使用温度	℃		40
主要寸法	胴内径	mm	720 (注2)
	胴板厚さ	mm	3.2 (3.2 (注2))
	平板厚さ	mm	3.2 (3.2 (注2))
	屋根板厚さ	mm	3.2 (3.2 (注2))
	入口管外径	mm	27.2 (注2)
	出口管外径	mm	34.0 (注2)
	高さ	mm	850 (注2)
材料	胴板	—	SS400
	平板	—	SS400
	屋根板	—	SS400

(2/2)

		変更前	変更後
取付箇所	個	—	2
	数	—	
	系 (ライン名)	—	ディーゼル消火ポンプ燃料補給ライン
	設置床	—	
	溢水防護上の 区画番号	—	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値

・可搬型

			変更前	変更後
名称				軽油用ドラム缶
種類	類	—		円筒形容器
容量	(注1)	ℓ		6,180 以上 (注2)
		ℓ/個		200 (注3)
最高使用圧力		(注1)	—	大気圧
最高使用温度		(注1)	℃	40
主要寸法	直径	mm		585 (注3)
	高さ	mm		890 (注3)
材料		—	—	SPCC
個数		—		31 (予備1)
取付箇所		—		保管場所： <div style="background-color: black; width: 100%; height: 40px;"></div> 取付箇所： [<div style="background-color: black; width: 100%; height: 20px;"></div>]

(注1) 重大事故等時における使用時の値

(注2) 重大事故等時に必要な容量は、軽油用ドラム缶31個を使用して、6,180ℓ以上とする。

(注3) 公称値

・可搬型

		変更前	変更後	
名 称			送水車燃料タンク (注1)	
種 類	—			
容 量 (注2)	ℓ/個			
最 高 使 用 圧 力 (注2)	—	—		
最 高 使 用 温 度 (注2)	℃			
主 要 寸 法	た て			mm
	横			mm
	高 さ			mm
材 料	—			
個 数	—			
取 付 箇 所	—			

(注1) 送水車の附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 送水車1台当たりの個数を示す。

・可搬型

			変更前	変更後
名称				大容量ポンプ燃料タンク (注1)
種類		—		角形
容量 (注2)		ℓ/個		446 以上 (495 (注3))
最高使用圧力 (注2)		—		大気圧
最高使用温度 (注2)		℃		40
主要寸法	た	て	mm	1,480 (注3)
	横		mm	540 (注3)
	高	さ	mm	640 (注3)
材	料	—		AISI304 (SUS304相当)
個	数	—		2 (注4)
取	付	箇所	—	

(注1) 大容量ポンプの附属機器である。

(注2) 重大事故等時における使用時の値

(注3) 公称値

(注4) 大容量ポンプ1台当たりの個数を示す。

・可搬型

			変 更 前	変 更 後
名 称				大容量ポンプ（放水砲用）燃料タンク（注1）
種 類		—		
容 量	（注2）	ℓ/個		
最 高 使 用 圧 力	（注2）	—		
最 高 使 用 温 度	（注2）	℃		
主 要 寸 法	た て	mm		
	横	mm		
	高 さ	mm		
材 料		—		
個 数		—		
取 付 箇 所		—		

（注1） 大容量ポンプ（放水砲用）の附属機器である。

（注2） 重大事故等時における使用時の値

（注3） 公称値

（注4） 大容量ポンプ（放水砲用）1台当たりの個数を示す。

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-29-1

令和2年6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-29-1

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月16日
至 令和2年6月17日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録


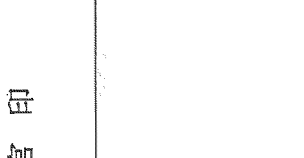
検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	
	関原発第343号 (平成29年12月15日)
	関原発第427号 (平成30年 3月16日)
	関原発第 62号 (平成30年 4月20日)
	関原発第158号 (平成30年 6月25日)
	関原発第201号 (平成30年 7月 4日)
	関原発第414号 (平成30年12月 5日)
	関原発第517号 (平成31年 2月 6日)
	関原発第 61号 (2019年 5月16日)
	関原発第121号 (2019年 6月28日)
	関原発第167号 (2019年 7月25日)
	関原発第216号 (2019年 9月 2日)
	関原発第640号 (2020年 3月24日)
	関原発第650号 (2020年 3月30日)
	関原発第 30号 (2020年 4月 7日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-29-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月16日、 17日	良	森田 悠二 	飛電用原子炉 主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-29-1

検査年月日：令和2年 6月 16日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-29-1

検査年月日：令和2年 6月16,17日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-29-1

検査年月日：令和2年 6月16,17日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物（別添の太線枠内の範囲）			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立・据付検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-1310、M3-3-0107 目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

4 大気防汚設備
 1 大気防汚設備構造図及びその大気防汚設備構造物の名称、種類、主要寸法及び材料
 ・補助建屋、器具取付位置

装置名 大気防汚施設 (区画) 名称	区画番号	区画形状	主要寸法 (mm)	材料	変更前			変更後			
					名称	区画番号	区画形状	名称	区画番号	区画形状	
大気防汚設備構造図					名称	区画番号	区画形状	名称	区画番号	区画形状	
A. 大気防汚設備構造図 B. 大気防汚設備構造図 C. 大気防汚設備構造図 D. 大気防汚設備構造図 補助建屋構造図及びその大気防汚設備構造物の名称、種類、主要寸法及び材料 ・補助建屋、器具取付位置					名称	区画番号	区画形状	名称	区画番号	区画形状	

変更前					変更後				
品名	作	種別		材質	品名	作	種別		材質
		区分	部				区分	部	
大塚区域(区画)名付					大塚区域(区画)名付				
大塚区域(区画)名付	探検				D599705055Dハフターセメント(8トライン)				
					透電ホトシ				
					陸路半(エレベーターホール)				
					リレー半				
					配線処理室				
					中央制御室				
					放射線管理室及び循環モニタ				

(注1) 本図面は既存の図面である。
(注2) 公称値のうち最小のもの

変更欄

名		種		名		種		名		種	
品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量
水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称	
水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号	
種別		種別		種別		種別		種別		種別	
必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)	
材料		材料		材料		材料		材料		材料	
備註		備註		備註		備註		備註		備註	
原付用貯蔵タンク 水取区域(区画)名称: 水取区域 水取区域(区画)番号: 水取区域 種別: 貯 必要寸法(mm): 150以上 材料: 鋼板 備註: 鋼板											

(注1) 本設備は既存の設備である。
 (注2) 公作値のうち最小のもの。

変更欄

名		種		名		種		名		種	
品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量
水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称	
水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号	
種別		種別		種別		種別		種別		種別	
必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)	
材料		材料		材料		材料		材料		材料	
備註		備註		備註		備註		備註		備註	
原付用貯蔵タンク 水取区域(区画)名称: 水取区域 水取区域(区画)番号: 水取区域 種別: 貯 必要寸法(mm): 150以上 材料: 鋼板											

(注1) 本設備は既存の設備である。
 (注2) 公作値のうち最小のもの。

変更欄

名		種		名		種		名		種	
品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量
水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称	
水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号	
種別		種別		種別		種別		種別		種別	
必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)	
材料		材料		材料		材料		材料		材料	
備註		備註		備註		備註		備註		備註	
原付用貯蔵タンク 水取区域(区画)名称: 水取区域 水取区域(区画)番号: 水取区域 種別: 貯 必要寸法(mm): 150以上 材料: 鋼板											

(注1) 本設備は既存の設備である。
 (注2) 公作値のうち最小のもの。

変更欄

名		種		名		種		名		種	
品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量
水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称		水取区域(区画)名称	
水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号		水取区域(区画)番号	
種別		種別		種別		種別		種別		種別	
必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)		必要寸法(mm)	
材料		材料		材料		材料		材料		材料	
備註		備註		備註		備註		備註		備註	
原付用貯蔵タンク 水取区域(区画)名称: 水取区域 水取区域(区画)番号: 水取区域 種別: 貯 必要寸法(mm): 150以上 材料: 鋼板											

(注1) 公作値のうち最小のもの。

・固体定時貯蔵庫

変更前						
巻	名称	区画	区画番号	種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域 (区画)	名称	区画	区画番号	種類	主要寸法 (mm)	材料
	火災区域 (区画) 名称	区画	区画番号			
	1. 固体定時貯蔵庫	火災区域				
	2. 固体定時貯蔵庫	火災区域				
	3. 固体定時貯蔵庫	火災区域				
	4. 固体定時貯蔵庫 (1F)	火災区域				
	4. 固体定時貯蔵庫 (2F)	火災区域				
	2. 固体定時貯蔵庫	火災区域				
	2. 固体定時貯蔵庫	火災区域				

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

(注3) 公称値

・蒸気発生器貯蔵庫

変更前						
巻	名称	区画	区画番号	種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域 (区画)	名称	区画	区画番号	種類	主要寸法 (mm)	材料
	火災区域 (区画) 名称	区画	区画番号			
	B. 蒸気発生器貯蔵庫	火災区域			150 以下 150 以下	鉄筋コンクリート
	A. 蒸気発生器貯蔵庫	火災区域			150 以上 150 以下	鉄筋コンクリート

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値のうち最小のもの

・緊急時貯蔵庫

変更前						
巻	名称	区画	区画番号	種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域 (区画)	名称	区画	区画番号	種類 <td>主要寸法 (mm)</td> <td>材料</td>	主要寸法 (mm)	材料
	火災区域 (区画) 名称	区画	区画番号			
	緊急時貯蔵庫	火災区域			150 以下 150 以下	鉄筋コンクリート

(注1) 公称値のうち最小のもの

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機

発電用原子炉に燃料体を挿入することが
できる状態になった時に係る
使用前検査成績書

施設名 : その他発電用原子炉の附属施設

系統名 : 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物

要領書番号 : 原規規収第 1712152 号 1-29-2

令和元年 11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査の種類 発電用原子炉に燃料体を挿入することができる状態になった時に係る
使用前検査

- 3 検査申請 使用前検査申請番号

関原発第343号(平成29年12月15日)
関原発第427号(平成30年 3月16日)
関原発第 62号(平成30年 4月20日)
関原発第158号(平成30年 6月25日)
関原発第201号(平成30年 7月 4日)
関原発第414号(平成30年12月 5日)
関原発第517号(平成31年 2月 6日)
関原発第 61号(令和 元年 5月16日)
関原発第121号(令和 元年 6月28日)
関原発第167号(令和 元年 7月25日)
関原発第216号(令和 元年 9月 2日)

- 4 検査期日 自令和元年 8月20日
至令和元年 11月27日

- 5 検査場所 関西電力株式会社美浜発電所
福井県三方郡美浜町丹生

- 6 検査範囲 美浜発電所第3号機
発電用原子炉施設
その他発電用原子炉の附属施設
火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物 一式
- 7 検査結果 検査実施者及び検査結果一覧表のとおり

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和元年8月20日	令和元年8月20日
		田中 孝行 環境技官 増本 豊	発電用原子炉 主任技術者

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
 - (1) 材料検査
 - (2) 寸法検査
 - (3) 外観検査
 - ~~(4) 組立て及び据付け状態を確認する検査~~
- 3 検査用計器一覧表

検査実施者及び検査結果一覧表

検査項目	検査結果	原子力施設検査官	検査立会責任者
性能検査 材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	良	令和元年11月26日	令和元年11月26日
		平川 圭司	発電用原子炉 主任技術者

8 特記事項

なし

9 添付資料

使用前検査記録

- 1 検査前確認事項
- 2 性能検査記録
 - (1) 材料検査
 - (2) 寸法検査
 - (3) 外観検査
 - (4) 組立て及び据付け状態を確認する検査
- 3 検査用計器一覧表

美浜発電所第3号機 使用前検査記録 検査前確認事項

共通事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月20日	良	使用前検査成績書の「3 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。
		令和元年 11月 26 ²⁷ 日	良	
		年 月 日		
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	令和元年 8月20日	良	
		令和元年 11月 26 ²⁷ 日	良	
		年 月 日		
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	令和元年 8月20日	良	
		令和元年 11月 26 ²⁷ 日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

材料検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月20日	良	
		令和元年 11月 ²⁶ ₂₇ 日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月20日	良	
		令和元年 11月 ²⁶ ₂₇ 日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

寸法検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月20日	良	
		令和元年 11月 26 ²⁷ 日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月20日	良	
		令和元年 11月 26 ²⁷ 日	良	
		年 月 日		
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	令和元年 8月20日	良	
		令和元年 11月 26 ²⁷ 日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

外観検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 8月20日	良	
		令和元年 11月 ²⁶ / ₂₇ 日	良	
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 8月20日	良	
		令和元年 11月 ²⁶ / ₂₇ 日	良	
		年 月 日		

美浜発電所第3号機 使用前検査記録

検査前確認事項

性能検査

組立て及び据付け状態を確認する検査

確認事項	確認方法	検査年月日	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	令和元年 11月27日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	令和元年 11月27日	良	
		年 月 日		
		年 月 日		

美浜発電所第3号機

性能検査記録 (材料検査)

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯蔵タンクエリア	鉄筋コンクリート	令和元年 8月20日	良	記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-2008

コンクリートの材料検査については、別紙に示すエリア①～④の1LF及び2LFの対象範囲を確認した。但し、構造体コンクリートの圧縮強度は除く。

鉄筋の材料検査については、別紙に示すエリア②の1LF及び2LFの対象範囲を確認した。

美浜発電所第3号機

性能検査記録
(材料検査)

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	材料	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯蔵タンクエリア	鉄筋コンクリート	令和元年 11月 ²⁶ ₂₇ 日	良	記録確認

備考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-2008

*：令和元年8月20日に検査した対象範囲以外の当該検査対象範囲について、確認した。

美浜発電所第3号機

性能検査記録 (寸法検査)

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。

検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
※4 燃料油貯蔵タンクエリア	150 以上 (※2)	 以上	1,402	令和元年 8月20日	良	目視 記録確認

備考

※1：許容値は工事計画による。

※2：公称値のうち最小のもの

・記録確認は、申請者の品質記録(※3)による。

~~※3：適合性確認検査成績書の識別番号~~

※4：別紙に示す対象範囲について確認。

美浜発電所第3号機						
性能検査記録 (寸法検査)						
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所						
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式						
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。						
検査対象	主要寸法 (mm)	許容値 ^{※1} (mm)	測定値 (mm)	検査年月日	検査 結果	検査方法
燃料油貯蔵タンクエリア	150 以上 (^{※2})	 以上	/	令和元年 11月26日 27	良	目視/ 記録確認
備 考						
<p>※1：許容値は工事計画による。</p> <p>※2：公称値のうち最小のもの</p> <p>・記録確認は、申請者の品質記録（※3）による。</p> <p> ※3：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-2008</p> <p>*：令和元年8月20日に検査した対象範囲以外の当該検査対象範囲について、確認した。</p>						

美浜発電所第3号機			
性能検査記録 (外観検査)			
検査場所：関西電力株式会社美浜発電所			
検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備 火災区域構造物及び火災区画構造物：一式			
判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。			
検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯蔵タンクエリア※1	令和元年 8月20日	良	目視 記録確認
備考			
記録確認は、申請者の品質記録（※）による。 ※：適合性確認検査成績書の識別番号 ※1：別紙に示すエリア②の対象範囲について確認			

美浜発電所第3号機

性能検査記録
(外観検査)

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：有害な欠陥（表面に機能・性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ、変形、腐食、浸食）がないこと。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯蔵タンクエリア	令和元年 11月26日 27日	良	目視 記録確認

備 考

・記録確認は、申請者の品質記録（※）による。

※：適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-2008

*：令和元年8月20日に検査した対象範囲以外の当該検査対象範囲について、確認した。

美浜発電所第3号機

性能検査記録
(組立て及び据付け状態を確認する検査)

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査範囲：その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備
火災区域構造物及び火災区画構造物：一式

判定基準：工事計画のとおりであり、技術基準に適合すること。

検査対象	検査年月日	検査結果	検査方法
燃料油貯蔵タンクエリア	令和元年 11月27日	良	目視 記録確認

備考

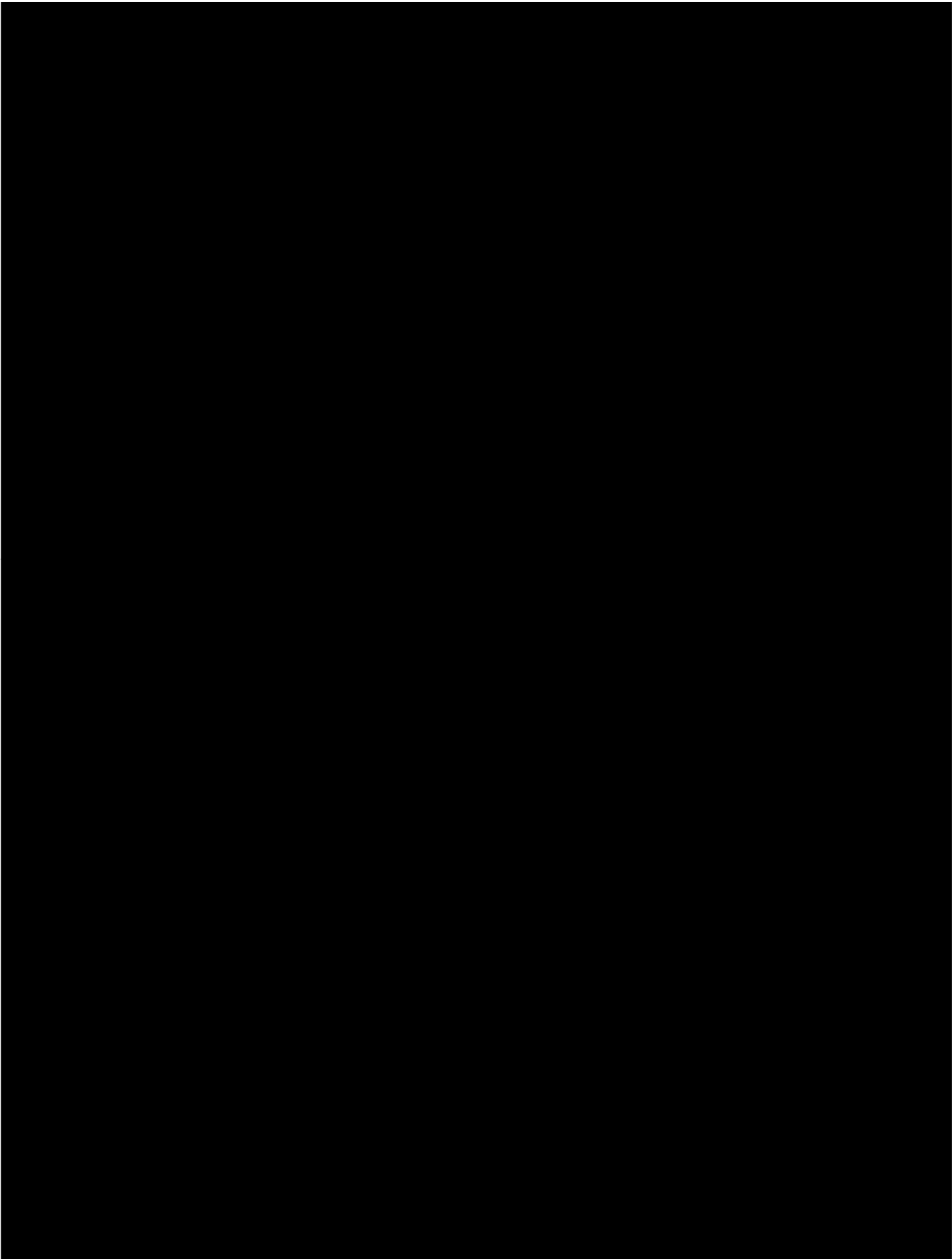
~~記録確認は、申請者の品質記録(※)による。~~

~~※：適合性確認検査成績書の識別番号~~

美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

検査年月日：令和元年 8月20日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	コンベックス				2019.5.9 2021.5.8	L:測定長 (mm)
以下余白						



関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-30

令和2年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-30

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年11月20日
至 令和2年11月20日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号 (平成29年12月15日) 関原発第427号 (平成30年 3月16日) 関原発第 62号 (平成30年 4月20日) 関原発第158号 (平成30年 6月25日) 関原発第201号 (平成30年 7月 4日) 関原発第414号 (平成30年12月 5日) 関原発第517号 (平成31年 2月 6日) 関原発第 61号 (2019年 5月16日) 関原発第121号 (2019年 6月28日) 関原発第167号 (2019年 7月25日) 関原発第216号 (2019年 9月 2日) 関原発第640号 (2020年 3月24日) 関原発第650号 (2020年 3月30日) 関原発第 30号 (2020年 4月 7日) 関原発第239号 (2020年 8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-30

検査年月日	検査結果	原子力検査官 姓	検査立会責任者 姓	特記事項
令和2年 11月20日	良	須貝 実 環境技官 柏木 智仁	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-30

検査年月日：令和2年 11月 20日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-30

検査年月日：令和2年 11月 20日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-30

検査年月日：令和2年 11月 20日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
消火水ポンプ (Aポンプ)	性能検査 運転性能検査	別紙1参照	良	目視
3号機制御建屋 消火水供給ライン 分岐点 ～ 3号機制御建屋 消火水供給ライン 第1分岐点	性能検査 通水検査	異常なく通水されること。	良	
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-30

検査年月日：令和2年11月20日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
性能検査 運転性能検査	超音波 流量計				2020. 10. 22	
					2021. 10. 31	
性能検査 運転性能検査	圧力計				2020. 4. 21	次回定検
性能検査 運転性能検査	圧力計				2020. 4. 21	次回定検
性能検査 運転性能検査	巻尺				2019. 5. 15	2021. 5. 14
以下余白						

その他発電用原子炉の附属施設

4 火災防護設備

2 消火設備に係る次の事項

- (1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所

・常設

(1/2)

名称		変更前	変更後
種類	—		
容量	m ³ /h/個		
揚程	m		
最高使用圧力	MPa		
最高使用温度	℃		
主要寸法	吸込口径	mm	
	吐出口径	mm	
	たて	mm	
	横	mm	
高さ	mm		
材料	—		
個数	—		

ポンプ

1


(2/2)

		変更前		変更後	
ポンプ	系統名 (ライン名)	-		A消火水ポンプ 消火水ライン	B消火水ポンプ 消火水ライン
	取付箇所	-			
	設置床	-			
	溢水防護上の 区画番号	-			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-			
原動機	種類	-			
	出力	kW/個			
	個数	-			
	取付箇所	-			

1

(注1) 公称値

(1/2)

変更前		変更後																																			
<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>電動消火ポンプ (1・2・3号機共用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/個</td> </tr> <tr> <td>揚程</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </table>		名称	電動消火ポンプ (1・2・3号機共用)	種類	—	容量	m ³ /h/個	揚程	m	最高使用圧力	MPa	最高使用温度	℃	吸込口径	mm	吐出口径	mm	たて	mm	横	mm	高さ	mm	ケーシング	—	個数	—	系統名 (ライン名)	—	設置床	—	溢水防護上の 区画番号	—	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	<p>(注1)</p> 	
名称	電動消火ポンプ (1・2・3号機共用)																																				
種類	—																																				
容量	m ³ /h/個																																				
揚程	m																																				
最高使用圧力	MPa																																				
最高使用温度	℃																																				
吸込口径	mm																																				
吐出口径	mm																																				
たて	mm																																				
横	mm																																				
高さ	mm																																				
ケーシング	—																																				
個数	—																																				
系統名 (ライン名)	—																																				
設置床	—																																				
溢水防護上の 区画番号	—																																				
溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—																																				
ポンプ																																					

2

・常設

		変更前		変更後		(2/2)
原動機	種	類	—			
	出	力	kW/個			
	個	数	—			
	取	付	箇			

2

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値

3

(1/2)

・常設

変更後		変更前	
(注1) ディーゼル消火ポンプ (1・2・3号機共用)			

名称		種類	
種	—	類	—
容	m ³ /h/個	量	—
揚	m	程	—
最	MPa	高使用圧力	—
高	℃	使用温度	—
主要寸法		吸込口径	mm
		吐出口径	mm
		たて	mm
		横	mm
		高さ	mm
材	ケ	マ	—
料	シ	ン	—
個	ン	グ	—
取付箇所		数	—
		系	—
		統	—
		名	—
		(—
		ラ	—
		イ	—
		ン	—
		名	—
)	—
		設	—
		置	—
		床	—
		上	—
		の	—
		防	—
		護	—
		区	—
		画	—
		番	—
		号	—
		の	—
		防	—
		護	—
		上	—
		の	—
		配	—
		慮	—
		が	—
		必	—
		要	—
		な	—
		高	—
		さ	—

(2/2)

		変更前		変更後	
原動機	種類	-		[Redacted]	
	出力	kW/個			
	個数	-			
	取付箇所	-			
3					

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 公称値

(2) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変更前				変更後								
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
消火設備	-	-				No. 1、No. 2 淡水タンク				(注2) 10.3	SUS304TP	
						~					(注2、4) 11.1	SUS304TP
						No. 1、No. 2 ディーゼル 消火ポンプ	0	40		(注2、4) 12.7	SUS304TP	
						(1・2・3号機 共用)						

変更前					変更後									
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	
								No. 1、No. 2 ディーゼル 消火ポンプ ～ 2-廃棄物庫・ A蒸気発生器 保管庫 供給ライン分岐点 (1・2・3号機 共用)						
								消火設備						
													(注2) 10.3 SUS304TP	
													(注2) 11.1 SUS304TP	

5

変更前					変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
						2-1 廃棄物庫・ A蒸気発生器 保管庫 供給ライン分岐点 ～ 2-1 廃棄物庫・ A蒸気発生器 保管庫 供給ライン 第1分岐点 (1・2・3号機 共用)		40				
					消火設備		1.3			6.0	SUS304TP	
												6

変更前				変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
						2-廃棄物庫・ A蒸気発生器 保管庫				(注2,4) 9.3	(注4) SUS304TP
						供給ライン分岐点 ～				(注2) 9.3	SUS304TP
						3、4-廃棄物庫・ B蒸気発生器 保管庫	1.3	40		(注2,4) 10.3	(注4) SUS304TP
						供給ライン分岐点 (1・2・3号機 共用)				(注2) 10.3	SUS304TP
						消火設備					

7

変更前				変更後								
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
						3、4-廃棄物庫・ B蒸気発生器 保管庫 供給ライン分岐点 ~ 3、4-廃棄物庫・ B蒸気発生器 保管庫 供給ライン 第1分岐点 (1・2・3号機 共用)					(注2) 6.0 SUS304TP	
						消火設備					(注2) 9.3 SUS304TP	

8

変更前				変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	外径 (mm)	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)		
消火設備		-				3、4-廃棄物庫・ B蒸気発生器 保管庫		(注2) 9.3 SUS304TP	SUS304TP
						供給ライン分岐点 ～ 電動消火ポンプ 出口ライン合流点 (1・2・3号機 共用)	1.3	40	

9

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
						A、B淡水タンク ～ 電動消火ポンプ (1・2・3号機 共用)	0	40		8.2 (注2)	SUS304TP
										10.3 (注2,4)	SUS304TP (注4)
										10.3 (注2)	SUS304TP
						電動消火ポンプ ～ 弁 (3FS-003) (1・2・3号機 共用)	1.6	40		8.2 (注2)	SUS304TP
消火設備											

10

11

変更前					変更後								
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料
	弁 (3FS-003) ~ 電動消火ポンプ 出口ライン合流点 (1・2・3号機 共用)		-					1.3	40		8.2 (注2)		SUS304TP
							消火設備						

12

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
	電動消火ポンプ 出口ライン合流点 ～ 固体廃棄物 処理建屋 供給ライン 分岐点 (1・2・3号機 共用)	1.3	40				
	消火設備						
					9.3	SUS304TP	

変更前				変更後								
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
						固体廃棄物 処理建屋 供給ライン 分岐点 ～ 固体廃棄物 処理建屋 供給ライン 第1分岐点 (1・2・3号機 共用)					(注4) 6.0 SUS304TP	(注4) 6.0 SUS304TP
						消火設備	1.3	40			(注2) 6.0 SUS304TP	(注2) 6.0 SUS304TP

14

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
	消火設備						
	固体廃棄物 処理建屋 供給ライン 分岐点 ~ 第2 固体廃棄物 処理建屋 供給ライン 分岐点 (1・2・3号機 共用)	1.3	40			9.3	SUS304TP
						(注2)	

15

変更前					変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
						第2 固体廃棄物 処理建屋 供給ライン 分岐点 ～ 第2 固体廃棄物 処理建屋 供給ライン 第1分岐点 (1・2・3号機 共用)	1.3	40		7.1	(注2) SUS304TP
消火設備											

変更前					変更後							
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	
						第2 固体廃棄物 処理建屋 供給ライン 分岐点 ~ 弁 (3V-6900)					(注4) 7.1	(注4) STPG370
											(注2) 7.1	STPG410
											(注2) 7.1	SUS304TP
								1.3	40		(注2) 9.3	SUS304TP
											(注4) 10.3	SUS304TP
											(注2) 10.3	SUS304TP
					消火設備							

変更前					変更後				
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	口径 (mm)	最大使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
消火設備									

18

19

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
消火設備							
	A、B、C、D、 E、F、G、II 消火水タンク ～ A、B 消火水ポンプ	0	40			(注2) 5.5 SUS304TP	
	A、B 消火水ポンプ ～ 消火水供給ライン 消火水配管 合流点	1.5	40			(注2) 7.1 STPT370	
						(注2) 7.1 STPT370	
						(注2) 7.1 STPG42	
						(注2) 7.1 STPT370	

20

21

変更前					変更後										
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材	料
消火設備															
原子炉格納容器 供給ライン 分岐点		1.5	40				(注4) STPG42				40	(注2,4) 6.0		(注4) STPG42	
～ 弁 (3V-6938)															
弁 (3V-6938)		0.98	40				(注4) STPG42				40	(注2,4) 6.0		(注4) STPG42	
～ 弁 (3MOV-6931)															

22

23

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	壁厚 (mm)	材料
						(注4) 弁 (3V-6932) ～ 原子炉格納容器内 第1分岐点	0.98	40		(注2) 6.0	STPG42
						消火設備 3号機火災区域 供給ライン 補助建屋 第1分岐点 ～ アニュラス内 第1分岐点	1.5	40		(注2) 3.9	SUS304TP

24

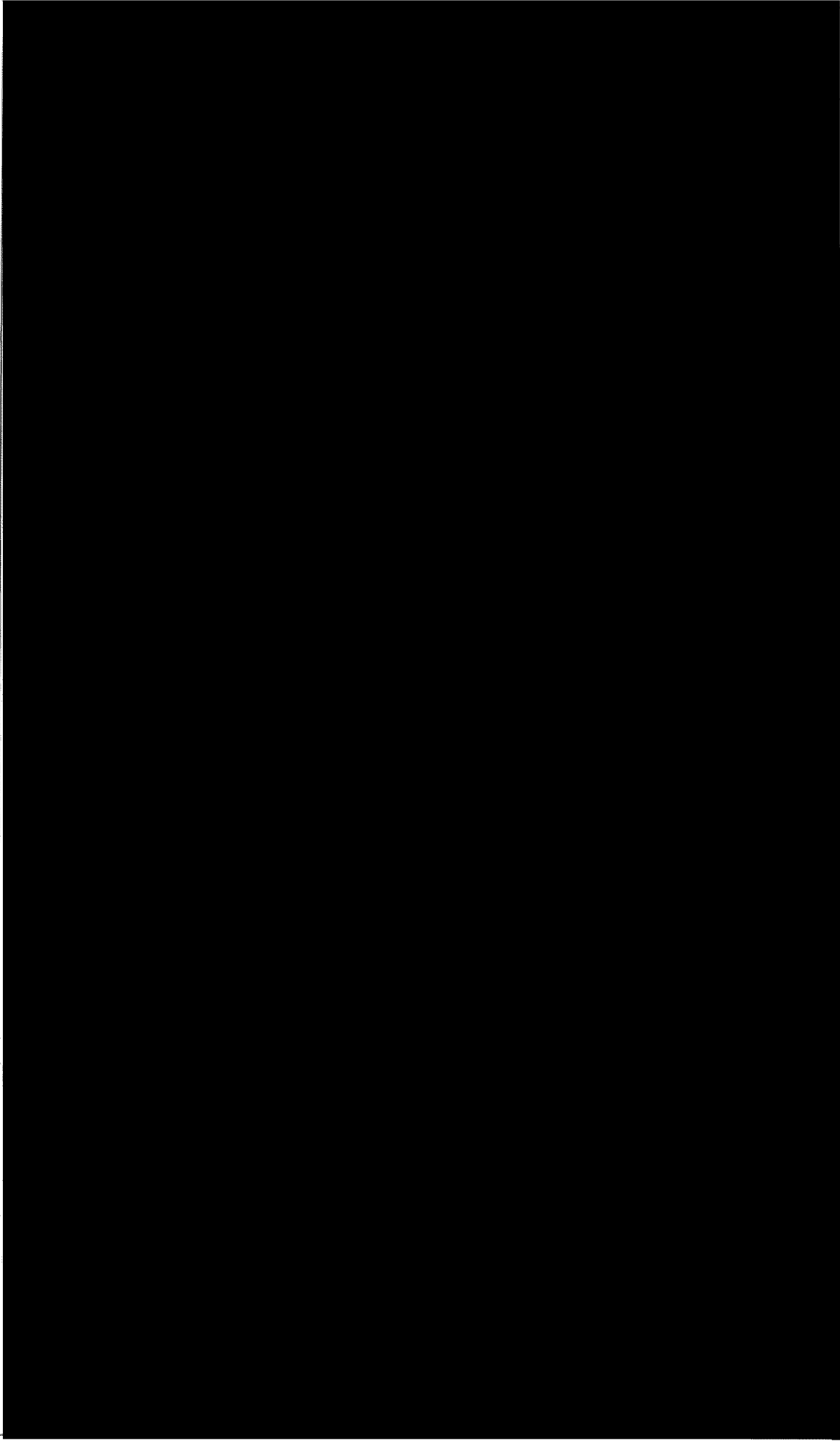
25

(注1) 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

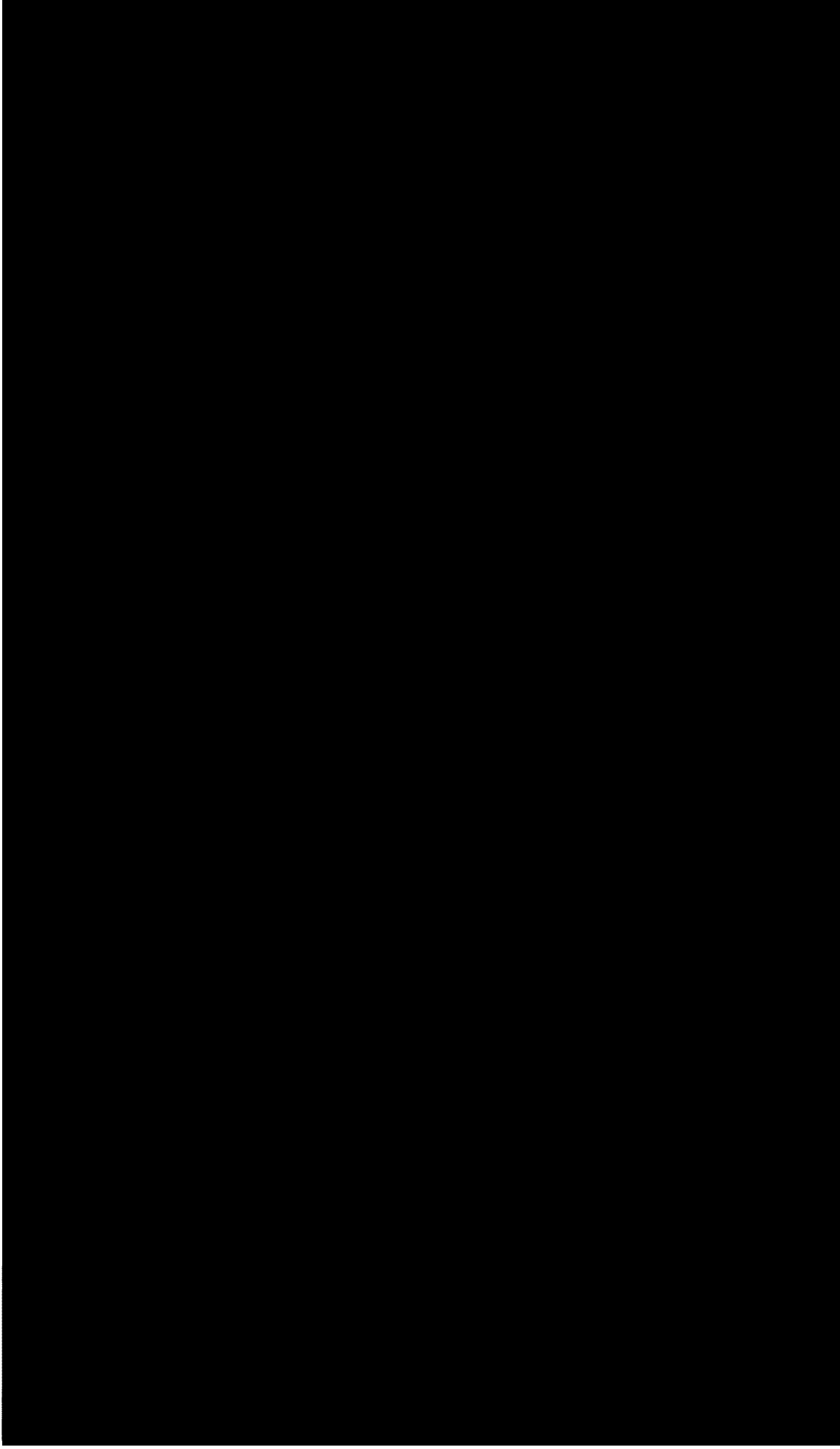
(注2) 公称値

(注3) エルボを示す。

(注4) 本設備は既存の設備である。



I. 事業計画認可申請	第10-2-1図
美浜発電所	第3号機
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)の系統図 (消火設備) (1/4) (設計基準対策施設)	
関西電力株式会社	



工事計画認可申請	第10-2-2図
美浜発電所	第3号機
その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備)の系統図 (消火設備) (2/4) (設計基準対象施設)	
関西電力株式会社	

容量 (m ³ /h/個)			揚程 (m)		
工事計画 記載値	許容値	確認値	工事計画 記載値	許容値	確認値
		67.1			103
備考 ※1 : 公称値					

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-31

令和2年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-31

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年5月28日
至 令和2年9月30日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日) 関原発第239号(2020年8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-31

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 5月28,29日	良	大江 勇人 	電用原子炉 主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 5月 28日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 5月28,29日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 5月28,29日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 屋外排水路逆流防止設備 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、 14、15、16			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認 ※1
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-2011 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：目視で確認した対象を除く範囲			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年5月29日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
浸水防護施設 外郭浸水防護設備 屋外排水路逆流防止 設備 10	寸法検査	別紙4参照	良	目視
浸水防護施設 外郭浸水防護設備 屋外排水路逆流防止 設備 9、10、11、12	外観検査	—	良	
浸水防護施設 外郭浸水防護設備 屋外排水路逆流防止 設備 9、10、11、12	組立て及び 据付け状態 を確認する 検査	—	良	
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年5月29日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	コンベックス				2020年5月13日 2022年5月12日	※L:測定長 (m)
以下余白						

設 備 概 要

原規規発第1610261号（平成28年10月26日）

浸水防護施設

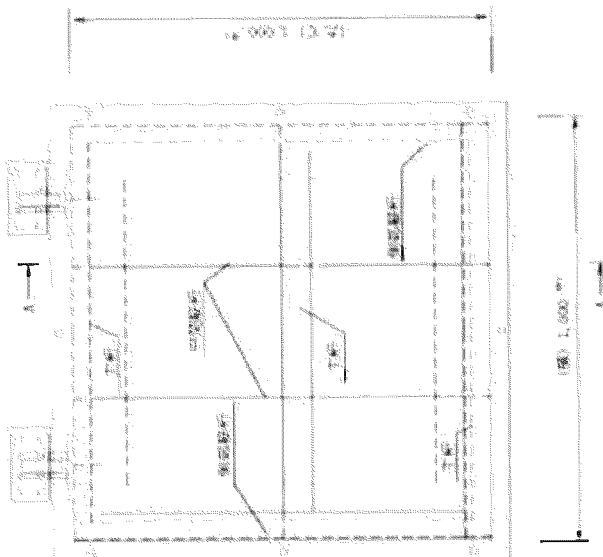
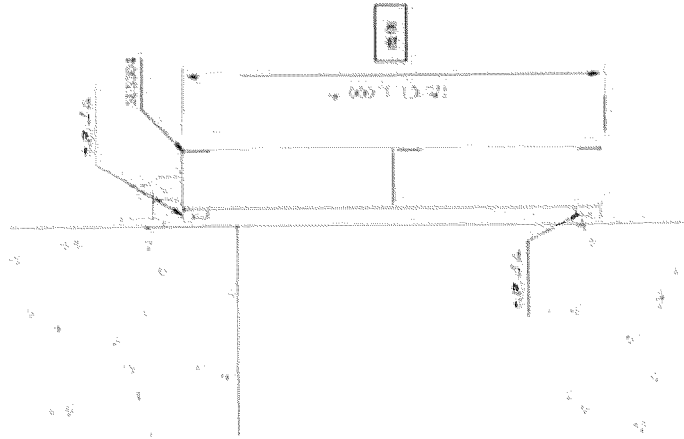
外郭浸水防護設備の名称、種類、主要寸法及び材料

			変 更 前	変 更 後	
名 称				屋外排水路逆流防止設備1、2、3、4、 5、6、7、8、9、10、11、12、13、 14、15、16	
種	類	—		逆流防止蓋 (フラップゲート)	
主 要 寸 法	た	て		mm	1,000 ^(注1)
	横			mm	1,000 ^(注1)
材	料			—	SUS304

(注1) 公称値

品名	数量	単位
[Redacted Content]		

平 面 図 説	
種	建築設計事務所 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 3320004
社	




建築設計事務所	建築士事務所
種	種
建築設計事務所 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 3320004 建築士事務所 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 3320004	
建築設計事務所 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 3320004	

単位: 1/200 (縮尺: 1/200)

項目	主要寸法 ^{※1} (mm)	許容値 ^{※2} (mm)	測定値 (mm)
浸水防護施設 外郭浸水防護設備 屋外排水路逆流防 止設備	たて 1000	995.6 ~ 1004.4	1000
	横 1000	995.6 ~ 1004.4	999
備考 ※1：公称値 ※2：許容値は工事計画による。			

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-31

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月25日 26	良	足立 恭二 須貝 実	飛電 原子炉 主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 6月 24日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 6月 24日
25日
26日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・◎	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 6月 24
25日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 防潮堤 ※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認※2
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-2006 ・目視で確認した範囲 ※1：別紙5～8参照 ※2：検査対象のうち、鉄筋コンクリート部について確認。			

5 浸水防護施設

1 外郭浸水防護設備の名称、種類、主要寸法及び材料

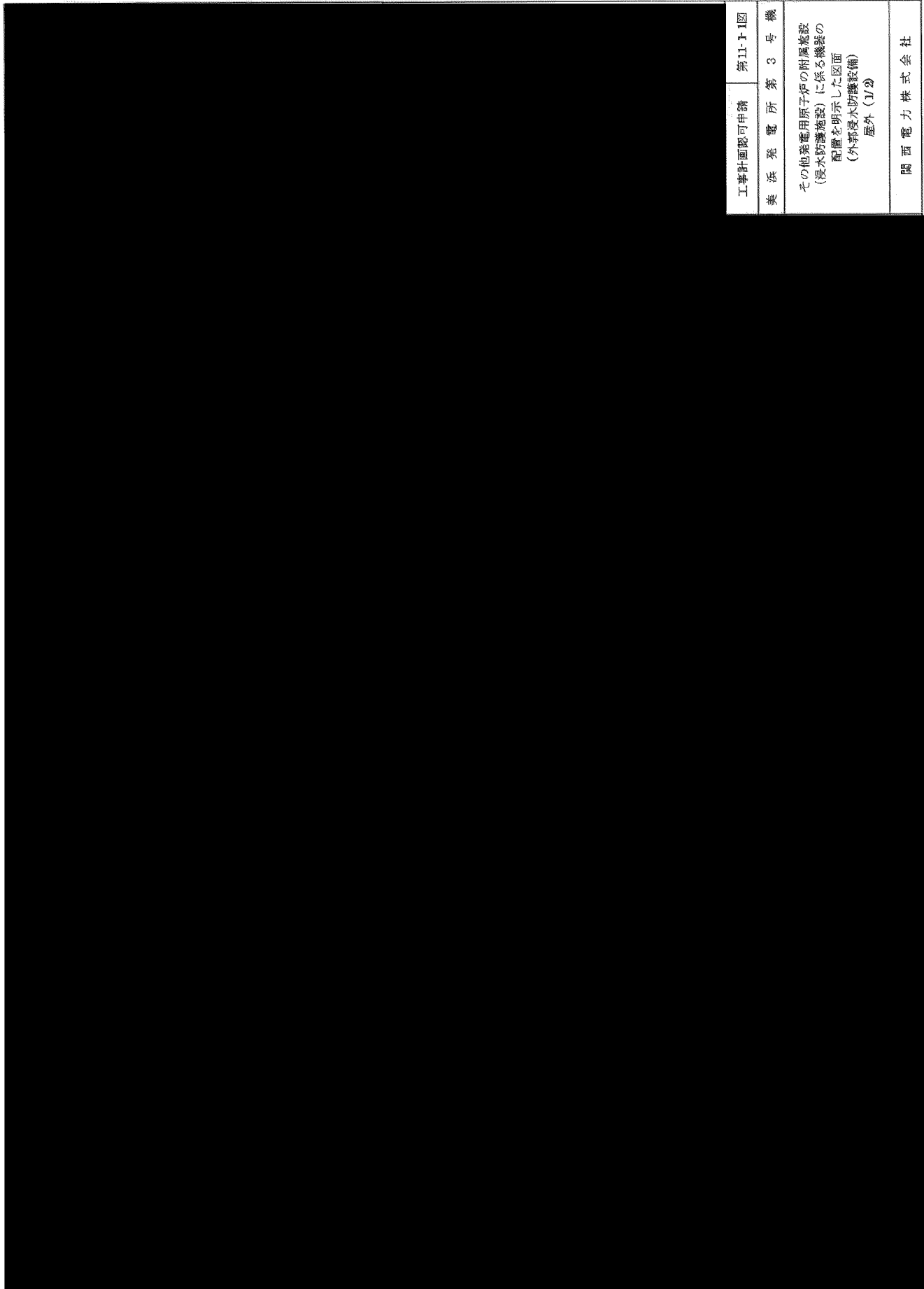
			変更前	変更後
名 称				防潮堤
種 類			—	防潮堤 (注1)
主要寸法	天端高さ	鉄筋コンクリート部	m	T.P. ■■■■■ m以上 (注2)
		地盤改良部	m	取水口側 : T.P. ■■■■■ m以上 (注2) 内陸側 : T.P. ■■■■■ m以上 (注3)
	幅	鉄筋コンクリート部	mm	断面①、② : 850 (注4) 断面③、④ : 1,100 (注4) 断面⑤ : 700 (注4)
材料	鉄筋コンクリート部		—	鉄筋コンクリート
	地盤改良部		—	コンクリート

(注1) 構造境界部に止水ジョイント設置

(注2) 入力津波高さ (T.P. ■■■■■ m) に高潮の影響 (+0.56m) を考慮した値

(注3) 入力津波高さ (T.P. ■■■■■ m) に高潮の影響 (+0.56m) を考慮した値

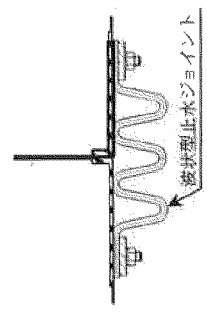
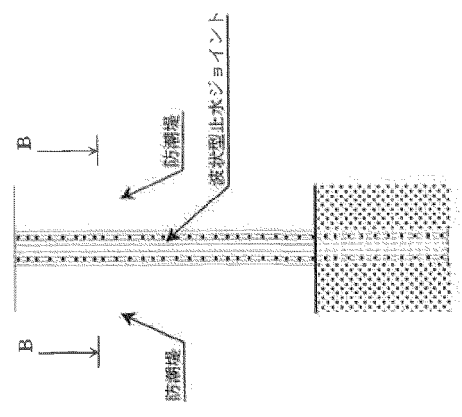
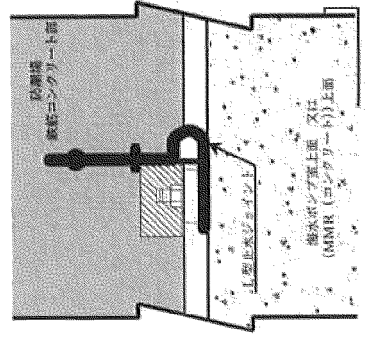
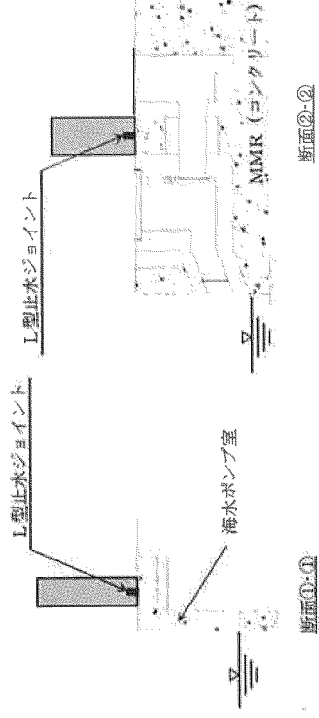
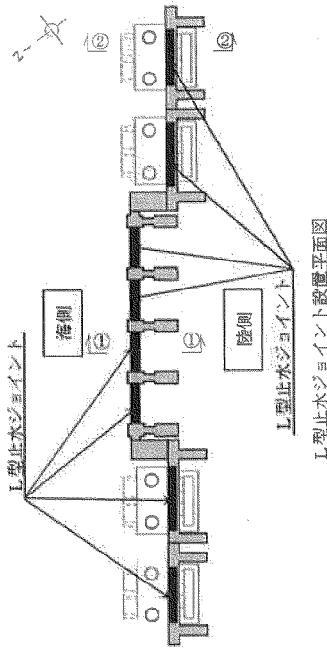
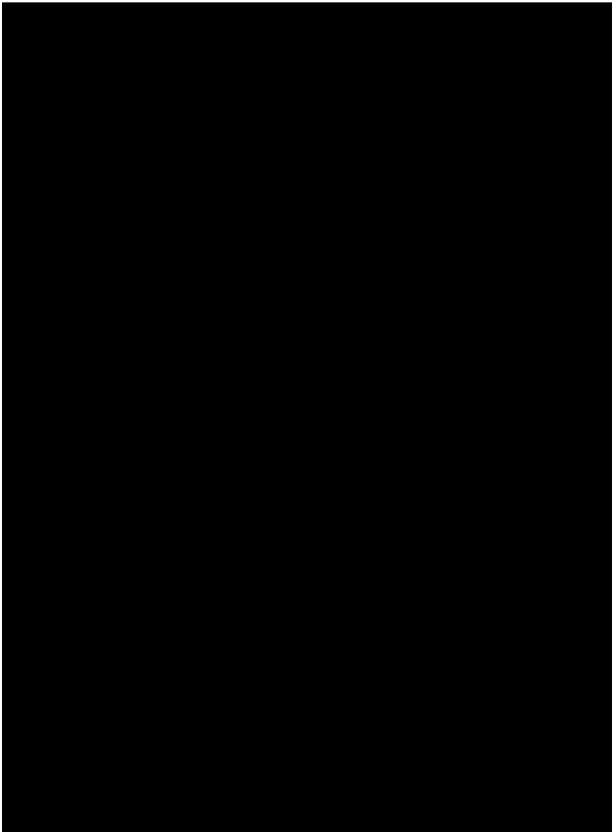
(注4) 公称値



工事計画認可申請	第11-J-1図
美浜発電所	第3号機
その他常用原子炉の附属施設 (浸水防護施設)に係る機器の 配置を明示した図面 (外郭浸水防護設備) 屋外(1/2)	
関西電力株式会社	



工事計画認可申請	第11-3-1図
業 務 電 所 第 3 号 機	
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設)の構造図 (外部浸水防護設備) 防潮堤(1/2)	
関西電力株式会社	



工事計画認可申請	第11-32図
美浜発電所第3号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設)の構造図 (外部浸水防護設備) 防潮堤(2/2)	
関西電力株式会社	

L型止水ジョイント(断面①-①、断面②-②) 詳細図

波状型止水ジョイント(断面B-B)

波状型止水ジョイント正面図 (A部)

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-31

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月18日	良	足立 恭二 [Redacted]	発電用原子炉主任技術者 [Redacted] 本行一ツ-EV主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年9月18日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 9月 18日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 9 月 18 日

検査場所：関西電力（株）美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 海水ポンプ室浸水防止蓋 ※1			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。		目視
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0502 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：別紙9～13 参照			

別紙9

その他発電用原子炉の附属施設

5 浸水防護施設

1 外郭浸水防護設備の名称、種類、主要寸法及び材料

名称			変更前	変更後	
種	類	—	—	海水ポンプ室浸水防止蓋1、2、3、4 マンホール	
主要寸法	た	て		mm	500 (注1)
	横			mm	1,530 (注1)
	厚	さ		mm	24.5 (25 (注1))
材	料			—	SUS316

(注1) 公称値

名称			変更前	変更後	
種	類	—	—	海水ポンプ室浸水防止蓋5、6、7、8 水位検出器用蓋	
主要寸法	た	て		mm	400 (注1)
	横			mm	400 (注1)
	厚	さ		mm	11.5 (12 (注1))
材	料			—	SUS316

(注1) 公称値

名称			変更前	変更後	
種	類	—	—	海水ポンプ室浸水防止蓋 9、10、11、12、13、14、15、16、 17、18、19、20、21、22、23、24 電気防食用蓋	
主要寸法	た	て		mm	400 (注1)
	横			mm	400 (注1)
	厚	さ		mm	11.5 (12 (注1))
材	料			—	SUS316

(注1) 公称値

名称			変更前	変更後	
種 類			—	海水ポンプ室浸水防止蓋 25、26、27、28	
種 類				電気防食用蓋	
主要寸法	た	て		mm	500 (注1)
	横			mm	500 (注1)
	厚	さ		mm	11.5 (12 (注1))
材 料			—	SUS316	

(注1) 公称値

名称			変更前	変更後	
種 類			—	海水ポンプ室浸水防止蓋29	
種 類				塵芥排出トラフ用蓋	
主要寸法	た	て		mm	760 (注1)
	横			mm	375 (注1)
	厚	さ		mm	19.5 (20 (注1))
材 料			—	SUS316	

(注1) 公称値

名称			変更前	変更後	
種 類			—	海水ポンプ室浸水防止蓋30、31、32	
種 類				塵芥排出トラフ用蓋	
主要寸法	た	て		mm	760 (注1)
	横			mm	710 (注1)
	厚	さ		mm	19.5 (20 (注1))
材 料			—	SUS316	

(注1) 公称値

別紙11

名称			変更前	変更後	
種 類			—	海水ポンプ室浸水防止蓋33	
種 類				塵芥排出トラフ用蓋	
主要寸法	た	て		mm	760 (注1)
	横			mm	1,590 (注1)
	厚	さ		mm	19.5 (20 (注1))
材 料			—	SUS316	

(注1) 公称値

名称			変更前	変更後	
種 類			—	海水ポンプ室浸水防止蓋34	
種 類				塵芥排出トラフ用蓋 (仕切弁付)	
主要寸法	た	て		mm	900.5 (注1)
	横			mm	840 (注1)
	厚	さ		mm	49.2 (50 (注1))
	高	さ	mm	510 (注1)	
材 料			—	SUS316	

(注1) 公称値

名称			変更前	変更後	
種 類			—	海水ポンプ室浸水防止蓋 35、37、39、41	
種 類				角落とし用蓋	
主要寸法	た	て		mm	2,320 (注1)
	横			mm	4,300 (注1)
	厚	さ		mm	24.5 (25 (注1))
材 料			—	SUS316	

(注1) 公称値

			変更前	変更後	
名称			-	海水ポンプ室浸水防止蓋 36、38、40、42	
種	類	-		角落とし用蓋	
主要寸法	た	て		mm	3,450 (注1)
	横			mm	4,100 (注1)
	厚	さ		mm	24.5 (25 (注1))
材				料	-

(注1) 公称値

			変更前	変更後	
名称			-	海水ポンプ室浸水防止蓋 43、44、45、46	
種	類	-		内部点検用蓋	
主要寸法	た	て		mm	1,300 (注1)
	横			mm	4,160 (注1)
	厚	さ		mm	24.5 (25 (注1))
材				料	-

(注1) 公称値

			変更前	変更後	
名称			-	海水ポンプ室浸水防止蓋47、51	
種	類	-		排水口用蓋 (逆止弁付)	
主要寸法	外	径		mm	600 (注1)
	厚	さ		mm	19.5 (20 (注1))
	高	さ		mm	245 (注1)
材				料	-

(注1) 公称値

				変更前	変更後
名称				-	海水ポンプ室浸水防止蓋50、54
種	類	—			排水口用蓋 (逆止弁付)
主要寸法	外	径	mm		800 (注1)
	厚	さ	mm		19.5 (20 (注1))
	高	さ	mm		245 (注1)
材	料	—			SUS316

(注1) 公称値

				変更前	変更後
名称				-	海水ポンプ室浸水防止蓋 48、49、52、53
種	類	—			排水口用蓋
主要寸法	外	径	mm		265 (注1)
	厚	さ	mm		15.5 (16 (注1))
材	料	—			SUS316



(注1) 公称値

				変更前	変更後
名称				-	海水ポンプ室浸水防止蓋55、56
種	類	—			箱抜き用蓋
主要寸法	た	て	mm		470 (注1)
	横		mm		650 (注1)
	厚	さ	mm		19.5 (20 (注1))
材	料	—			SUS316

(注1) 公称値

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-31

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月29日	良	須貝実 	発電用原子炉主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 9月 29日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 9月 29日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 9 月 29 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備 防潮堤 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する 検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認※1</div>
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-2006 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：地盤改良部について、目視で確認した範囲以外を確認。 			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年 9月 30日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
防潮堤	寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態 を確認する検査	別紙1参照	良	目視 ^{※1}
備考 ※1：検査対象のうち、地盤改良部（取水口側）（地盤改良部（内陸側）と鉄筋コンクリート部との間の部位）について確認。				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-31

検査年月日：令和2年9月30日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	オートレベル				2019. 10. 30 2020. 10. 29	
寸法検査	スタッフ				2019. 12. 2 2021. 12. 1	L: 測定長 (mm)
以下余白						

5 浸水防護施設

1 外郭浸水防護設備の名称、種類、主要寸法及び材料

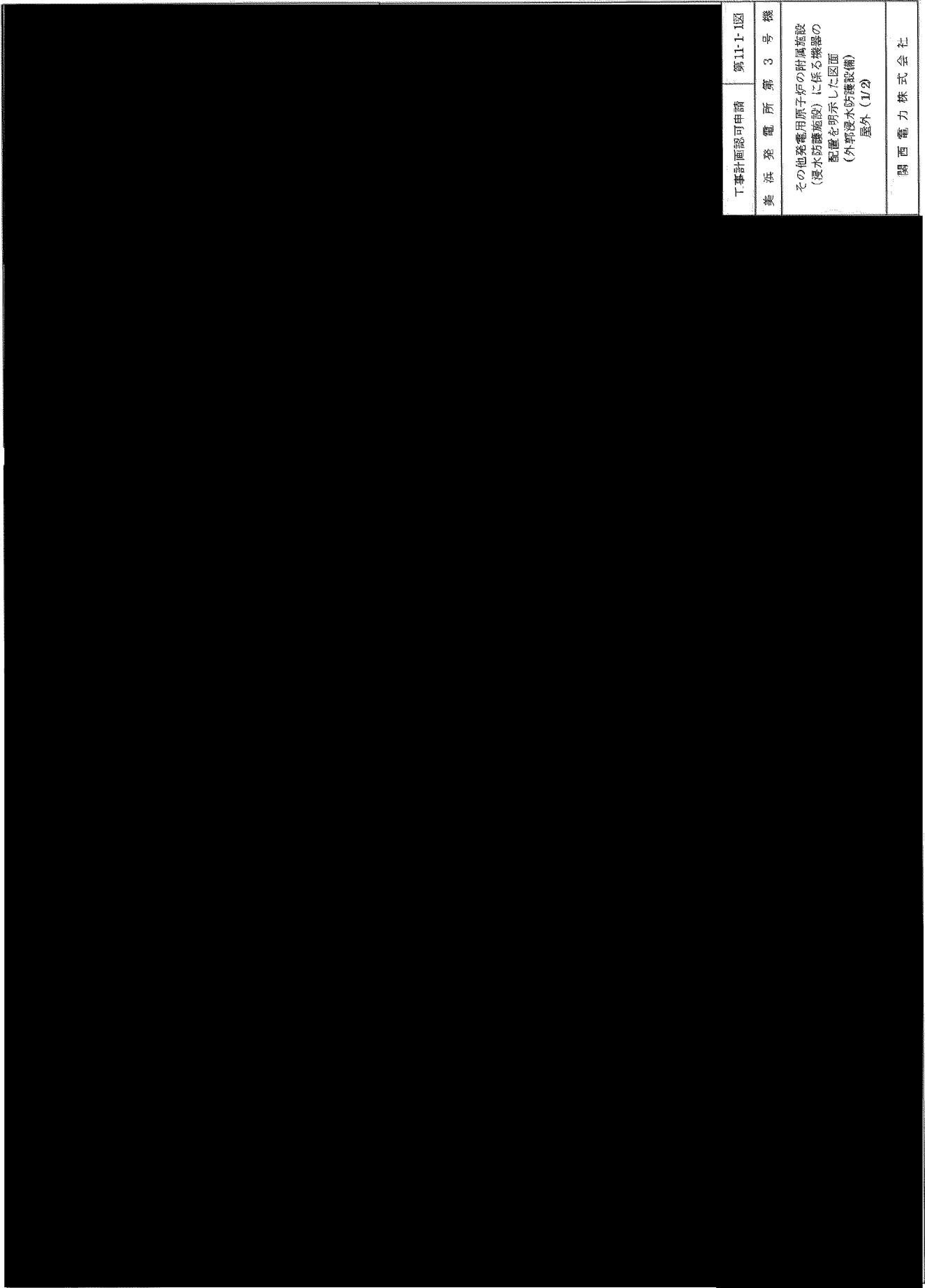
			変更前	変更後
名 称				防潮堤
種	類		—	防潮堤 (注1)
主要寸法	天端高さ	鉄筋コンクリート部	m	T.P. ■■■■■ m以上 (注2)
		地盤改良部	m	取水口側 : T.P. ■■■■■ m以上 (注2) 内陸側 : T.P. ■■■■■ m以上 (注3)
	幅	鉄筋コンクリート部	mm	断面①、② : 850 (注4) 断面③、④ : 1,100 (注4) 断面⑤ : 700 (注4)
材料	鉄筋コンクリート部		—	鉄筋コンクリート
	地盤改良部		—	コンクリート

(注1) 構造境界部に止水ジョイント設置

(注2) 入力津波高さ (T.P. ■■■■■ m) に高潮の影響 (+0.56m) を考慮した値

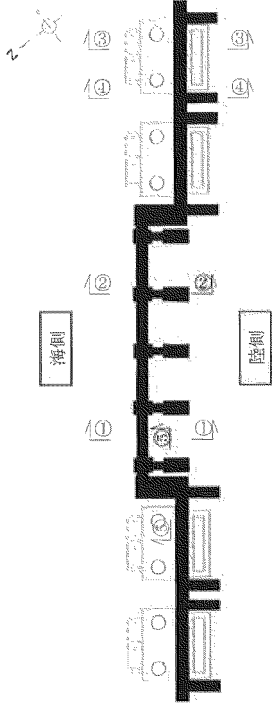
(注3) 入力津波高さ (T.P. ■■■■■ m) に高潮の影響 (+0.56m) を考慮した値

(注4) 公称値

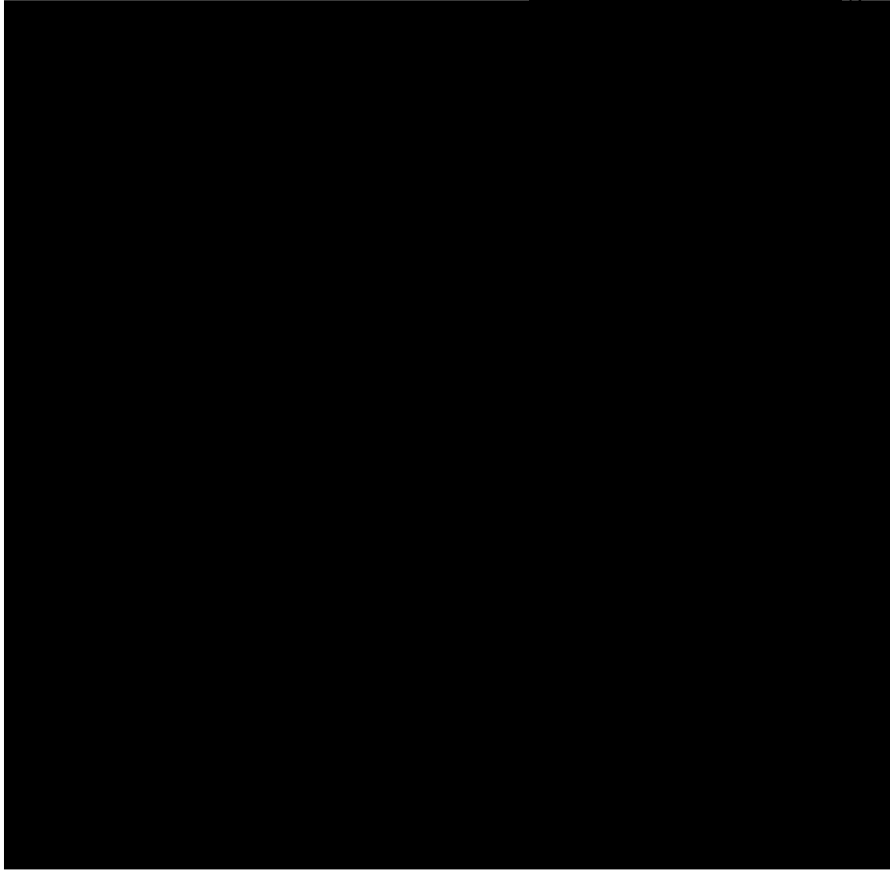


工事計画認可申請	第11-1-1図
美浜発電所第3号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設)に係る機器の 配置を明示した図面 (外郭浸水防護設備) 屋外(1/2)	
関西電力株式会社	

主要目表	
種	防潮堤
材料	鉄筋コンクリート部 コンクリート部 地盤改良部

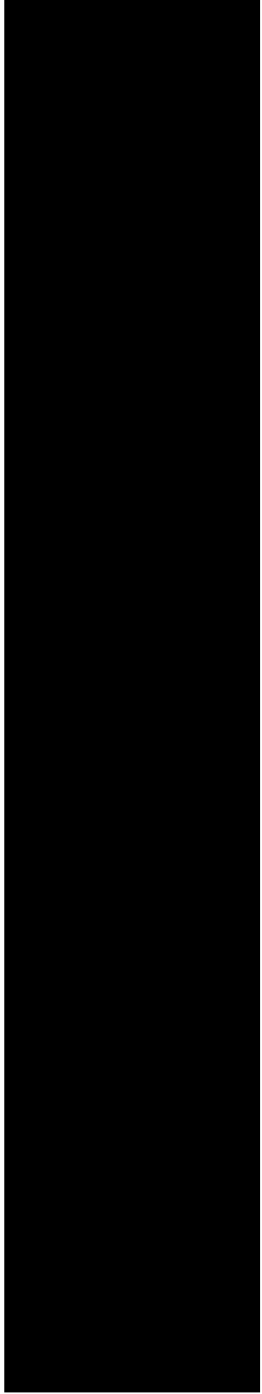


鉄筋コンクリート部平面図



断面A(地盤改良部(取水口側))

断面C(地盤改良部(内陸側))



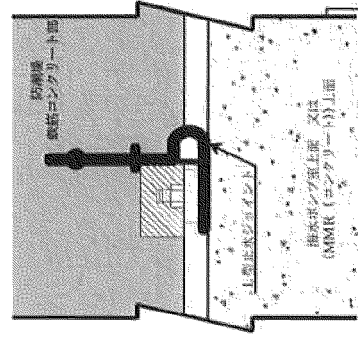
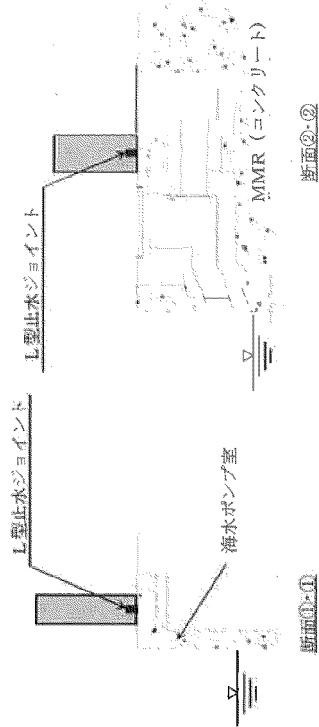
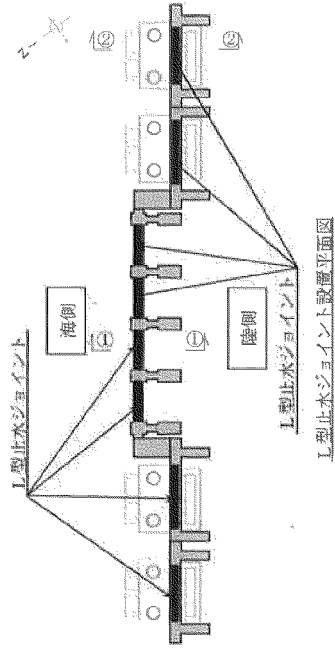
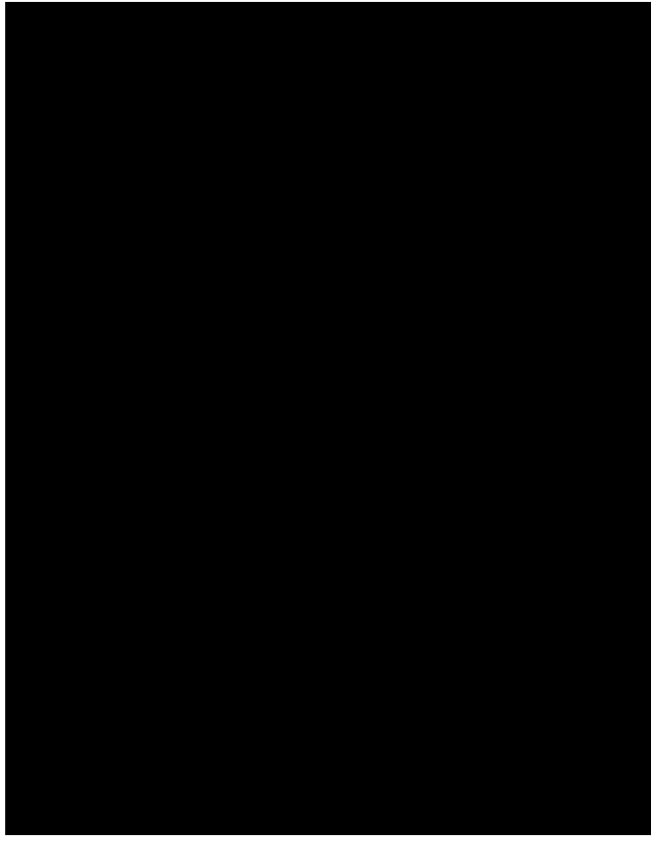
断面B(地盤改良部(取水口側))

断面④-④

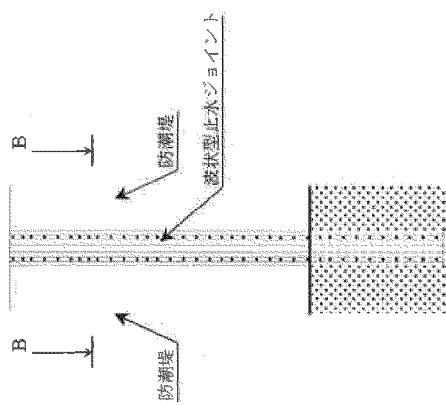
断面⑤-⑤

(単位:mm)

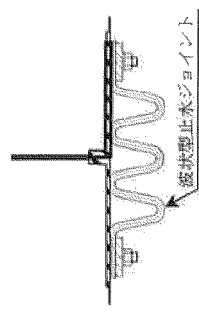
工事計画認可申請	第11-3-1区
美浜発電所第3号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (洪水防護施設)の構造図 (外郭洪水防護設備) 防潮堤(U2)	
関西電力株式会社	



L型止水ジョイント(断面①-①、断面②-②)詳細図



波状型止水ジョイント正面図(2型)



波状型止水ジョイント(断面B-B)

工事計画認可申請	第11-8-2図
美浜発電所第3号機	
その他発電用原子炉の防風補設 (浸水防護施設)の構造図 (外郭浸水防護設備) 防潮堤(2/2)	
関西電力株式会社	

寸 法 検 査				
検査対象		主要寸法	許容値※	測定値
地盤改良部（取水口側） （地盤改良部（内陸側）と鉄筋 コンクリート部との間の部位）	天端高さ	T.P. ■■■ m 以上	T.P. ■■■ m 以上	T.P.+5.99m 以上

※：許容値は工事計画による。

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1712152号99
成績書管理番号 : 1-32

令和2年 9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-32

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月18日
至 令和2年9月7日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	
	関原発第343号(平成29年12月15日)
	関原発第427号(平成30年 3月16日)
	関原発第 62号(平成30年 4月20日)
	関原発第158号(平成30年 6月25日)
	関原発第201号(平成30年 7月 4日)
	関原発第414号(平成30年12月 5日)
	関原発第517号(平成31年 2月 6日)
	関原発第 61号(2019年 5月16日)
	関原発第121号(2019年 6月28日)
	関原発第167号(2019年 7月25日)
	関原発第216号(2019年 9月 2日)
	関原発第640号(2020年 3月24日)
	関原発第650号(2020年 3月30日)
	関原発第 30号(2020年 4月 7日)
	関原発第239号(2020年8月21日)

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-32

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 6月18日、 19日	良	森田 憲二 [Redacted]	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボ行-17-7-7 主任技師 [Redacted]	たし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-32

検査年月日：令和2年 6月 18日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・－	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・－	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・－	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-32

検査年月日：令和2年 6月18,19日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・☹	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-32

検査年月日：令和2年 6月18,19日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備 防水区画構造物（別添の太線枠内の範囲）			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立・据付検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0329、M3-3-1309 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

			変更前	変更後	
名 称			-	燃料取扱建屋管理区域外 伝播防止堰 (No.1)	
種	類	-		堰	
主要寸法	高	さ		mm	300 以上 (注1)
	材	料		堰	鉄筋コンクリート
取付箇所	系	統		名	-
	(ライン名)				-
	設	置		床	-
	溢水防護上の 区画番号				-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ			-	

(注1) E.L. [] mからの高さ

			変更前	変更後
名称			-	燃料取扱建屋管理区域外 伝播防止堰 (No.2)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 (注1)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		[Redacted]
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [Redacted] mからの高さ

			変更前	変更後
名称			-	補助建屋管理区域外 伝播防止堰 (No.1)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 (注1)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		[Redacted]
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [Redacted] mからの高さ

名称			変更前	変更後
種 類			-	補助建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 2)
種 類				堰
主要寸法	高 さ	mm		300 以上 (G.L.)
材料	堰			鉄筋コンクリート
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)			-
	設 置 床			-
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		-	
(注1) E.L. ■■■■■からの高さ				

名称			変更前	変更後
種 類			-	補助建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 3)
種 類				堰
主要寸法	高 さ	mm		300 以上 (G.L.)
材料	堰			鉄筋コンクリート
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)			-
	設 置 床			-
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		-	
(注1) E.L. ■■■■■からの高さ				

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 1)
種類				堰
主要寸法	高さ	mm		350 以上 (GED)
材料	堰	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		
(注1) E.L. ■■■■■からの高さ				

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 2)
種類				堰
主要寸法	高さ	mm		400 以上 (GED)
材料	堰	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		
(注1) E.L. ■■■■■からの高さ				

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 3)
種類				堰
主要寸法	高さ	mm		400 以上 (注1)
材料	堰			鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)			-
	設置床			-
	溢水防護上の 区画番号			-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		-	
(注1) E.L. ■■■■■mからの高さ				

			変更前	変更後
名称			-	中間建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 4)
種類				堰
主要寸法	高さ	mm		400 以上 (注1)
材料	堰			鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)			-
	設置床			-
	溢水防護上の 区画番号			-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		-	
(注1) E.L. ■■■■■mからの高さ				

別添(6/14) (令和2年 6月18,19日)

名称			変更前	変更後
種	類	—	—	中間建屋浸水防止堰
主要寸法	高さ	mm		堰
材料	堰	—		350以上 ^(注1)
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		SS400
	設置床	—		—
	溢水防護上の 区画番号	—		■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		
(注1) E.L. ■からの高さ				

名称			変更前	変更後
種	類	—	—	ドラミングパッチタンク川浸水防止堰
主要寸法	高さ	mm		堰
材料	堰	—		600以上 ^(注1)
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		SS400
	設置床	—		—
	溢水防護上の 区画番号	—		■
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		
(注1) E.L. ■からの高さ				

別添(7/14) (令和2年 6月18,19日)

			変更前	変更後
名称			-	非常用エアロック前浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		300以上 ^(注1)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. []からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	脱塩塔入口浸水防止堰 (No. 1)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		1,250以上 ^(注1)
材料	堰	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. []からの高さ

			変更前	変更後
名称			-	脱塩塔入口浸水防止堰 (No. 2)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		1,150 以上 (G.L.)
	材料	堰		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		[Redacted]
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [Redacted] mからの高さ

			変更前	変更後
名称			-	ホット計器室前浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		350 以上 (G.L.)
	材料	堰		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		[Redacted]
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [Redacted] mからの高さ

			変更前	変更後
名称			-	常用エアロック前浸水防止堰
種 類				堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 ^(注1)
材料	堰			鉄筋コンクリート
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)			-
	設 置 床			-
	溢水防護上の 区 画 番 号			-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		-	
(注1) E.L. ■■■■■mからの高さ				

			変更前	変更後
名称			-	電気チャイム室浸水防止堰
種 類				堰
主要寸法	高さ	mm		580 以上 ^(注1)
材料	堰			SS400
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)			-
	設 置 床			-
	溢水防護上の 区 画 番 号			-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		-	
(注1) E.L. ■■■■■mからの高さ				

			変更前	変更後
名称			-	アニュラス循環ファン室浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		580 以上 (注1)
	材料	堰		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		[Redacted]
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		
(注1) E.L. [Redacted]mからの高さ				

			変更前	変更後
名称			-	機器ハッチ周り浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		350 以上 (注1)
	材料	堰		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		[Redacted]
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		
(注1) E.L. [Redacted]mからの高さ				

名称			変更前	変更後
種 類			-	廃樹脂タンク周り浸水防止堰
種 類				堰
主要寸法	高 さ	mm		800 以上 (注1)
材料	堰	-		SS400
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	-		-
	設 置 床	-		
	溢水防護上の区画番号	-		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		
(注1) E.L. [] mからの高さ				

名称			変更前	変更後
種 類			-	チラーユニット室浸水防止堰
種 類				堰
主要寸法	高 さ	mm		300 以上 (注1)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	-		-
	設 置 床	-		
	溢水防護上の区画番号	-		
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		
(注1) E.L. [] mからの高さ				

			変更前	変更後
名称			-	1次系冷却水クーラ室前浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		350以上 ^(注1)
	材料	堰		-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. ■■■mからの高さ

			変更前	変更後
名称			-	メタクラ室境界扉前浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		350以上 ^(注1)
	材料	堰		-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. ■■■mからの高さ

			変更前	変更後
名称			-	タービン動補助給水ポンプ室前 浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		550 以上 (注1)
材料	堰	-		SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. ■■■mからの高さ

			変更前	変更後
名称			-	Aディーゼル発電機室浸水防止堰
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 (注1)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		




(注1) E.L. ■■■mからの高さ

別添 (14/14) (令和2年 6月18,19日)

名 称			変 更 前	変 更 後	
			—	Bディーゼル発電機室浸水防止堰	
種	類	—		堰	
主要寸法	高	さ		mm	300 以上 (E.L.)
	堰			—	鉄筋コンクリート
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)			—	—
	設 置 床			—	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			—	
(注1) E.L. ■■■ mからの高さ					

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-32

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月7日	良	須貝実 	発電用原子炉 主任技術者  水行一・ク・ヒン主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-32

検査年月日：令和2年 9 月 7 日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-32

検査年月日：令和2年 9月 7日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-32

検査年月日：令和2年9月7日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備 防水区画構造物 燃料取扱建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 1) 燃料取扱建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 2) 補助建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 1) 非常用エアロック前浸水防止堰 海水ポンプエリア止水壁 (外郭浸水防護設備と兼用) (別添の太線枠内の範囲)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立・据付検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けられ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-1309、M3-3-0501 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

名 称			変 更 前	変 更 後
種 類			-	燃料取扱建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 1)
種				堰
主要寸法	高 さ	mm		300 以上 (注1)
材料	堰	-		鉄筋コンクリート
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	-		-
	設 置 床	-		[Redacted]
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-		
(注1) E.L. [Redacted] mからの高さ				

			変更前	変更後
名称				燃料取扱建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 2)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 (注1)
	材料	堰	-	鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [] mからの高さ

			変更前	変更後
名称				補助建屋管理区域外 伝播防止堰 (No. 1)
種	類	-		堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 (注1)
	材料	堰	-	鉄筋コンクリート
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. [] mからの高さ

			変更前	変更後
名称				非常用エアロック前浸水防止堰
種	類	—		堰
主要寸法	高さ	mm		300 以上 (注1)
			材料	堰
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	—
	設置床		—	
	溢水防護上の区画番号		—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	

(注1) E.L. [] mからの高さ

			変更前	変更後
名称				脱塩塔入口浸水防止堰 (No. 1)
種	類	—		堰
主要寸法	高さ	mm		1,250 以上 (注1)
			材料	堰
取付箇所	系統名 (ライン名)		—	—
	設置床		—	
	溢水防護上の区画番号		—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ		—	

(注1) E.L. [] mからの高さ

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号 : 原規規収第1712152号99

成績書管理番号 : 1-33

令和2年7月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-33

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年7月29日
至 令和2年7月29日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年3月16日) 関原発第62号(平成30年4月20日) 関原発第158号(平成30年6月25日) 関原発第201号(平成30年7月4日) 関原発第414号(平成30年12月5日) 関原発第517号(平成31年2月6日) 関原発第61号(2019年5月16日) 関原発第121号(2019年6月28日) 関原発第167号(2019年7月25日) 関原発第216号(2019年9月2日) 関原発第640号(2020年3月24日) 関原発第650号(2020年3月30日) 関原発第30号(2020年4月7日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号: 1-33

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 7月29日	良	足立 恭二 須貝 実	発電用原子炉主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-33

検査年月日：令和2年 7月 29日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-33

検査年月日：令和2年 7月 29日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・◎	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-33

検査年月日：令和2年 7月 29日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果



検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備 防水区画構造物 補助建屋水密扉 (No. 1) 中間建屋水密扉 (No. 1, No. 2, No. 3, No. 4, No. 5, No. 6, No. 7) 制御建屋水密扉 (No. 1, No. 2) ディーゼル建屋水密扉 (No. 1, No. 2, No. 3, No. 4, No. 5) 別添1～14参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 ・材料検査 ・寸法検査 ・外観検査 ・組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-1312 ・目視で確認した範囲			

その他発電用原子炉の附属施設

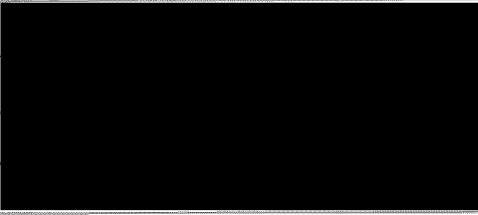

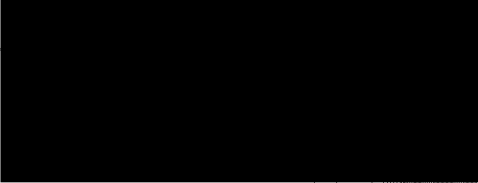
5 浸水防護施設

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

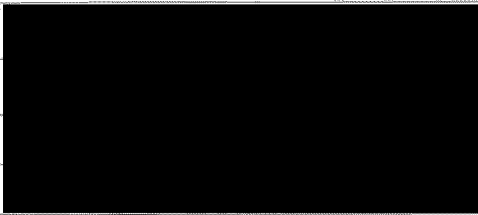
(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

			変更前	変更後	
名 称			—	補助建屋水密扉 (No. 1)	
種	類	—		片開扉	
主要寸法	た	て		mm	
	横			mm	
材料	板	材		—	
	補	強		材	
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)			—	—
	設 置 床			—	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			—	


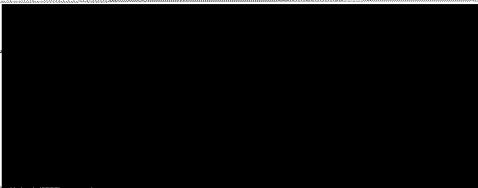
(注1) 公称値

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	中間建屋水密扉 (No. 1)	
種	類	-		片開扉	
主要寸法	た	て		mm	
	横			mm	
材料	板	材		-	
	補	強 材		-	
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)			-	-
	設 置 床			-	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-	


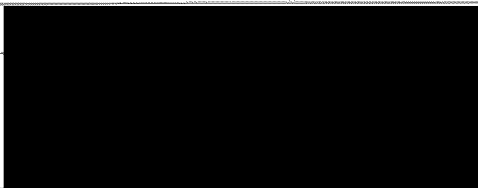
(注1) 公称値

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	中間建屋水密扉 (No. 2)	
種	類	-		片開扉	
主要寸法	た	て		mm	
	横			mm	
材料	板	材		-	
	補	強 材		-	
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)			-	-
	設 置 床			-	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-	

(注1) 公称値

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	中間建屋水密扉 (No. 3)	
種 類	類	-		片開扉	
主要寸法	た て	mm			
	横	mm			
材料	板 材	-			
	補 強 材	-			
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	-			-
	設 置 床	-			
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-			

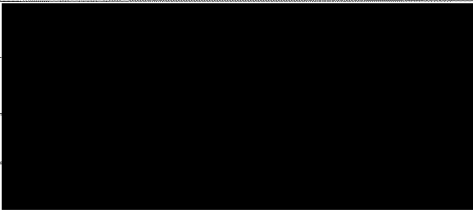
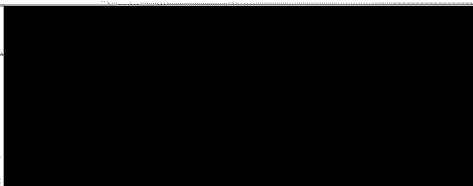
(注1) 公称値

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	中間建屋水密扉 (No. 4)	
種 類	類	-		片開扉	
主要寸法	た て	mm			
	横	mm			
材料	板 材	-			
	補 強 材	-			
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	-			-
	設 置 床	-			
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-			

(注1) 公称値

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	中間建屋水密扉 (No. 5)	
種 類	—	片開扉			
主要寸法	た て	mm			
	横	mm			
材 料	板 材	—			
	補 強 材	—			
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			—
	設 置 床	—			
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			


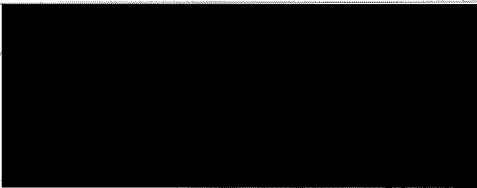
(注1) 公称値

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	中間建屋水密扉 (No. 6)	
種 類	—	片開扉			
主要寸法	た て	mm			
	横	mm			
材 料	板 材	—			
	補 強 材	—			
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			—
	設 置 床	—			
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

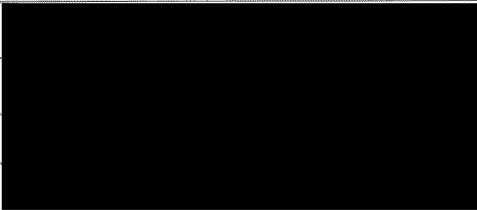

(注1) 公称値

			変更前	変更後	
名称			-	中間建屋水密扉 (No. 7)	
種類				-	
主要寸法	たて	mm		[Redacted]	
	横	mm			
材料	板材	-			
	補強材	-			
取付箇所	系統名 (ライン名)	-			-
	設置床	-			[Redacted]
	溢水防護上の 区画番号	-			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-			



(注1) 公称値

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	制御建屋水密扉 (No. 1)	
種 類		-		片開扉	
主要寸法	た て	mm			
	横	mm			
材 料	板 材	-			
	補 強 材	-			
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	-			-
	設 置 床	-			
	溢水防護上の区画番号	-			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-			

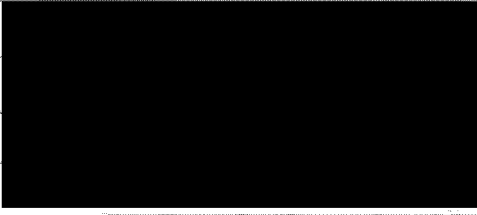
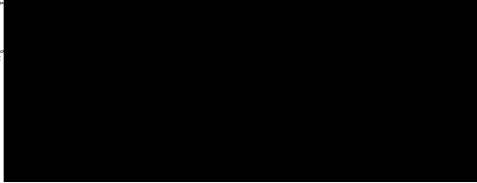
(注1) 公称値

			変 更 前	変 更 後	
名 称			-	制御建屋水密扉 (No. 2)	
種 類		-		片開扉	
主要寸法	た て	mm			
	横	mm			
材 料	板 材	-			
	補 強 材	-			
取付箇所	系 統 名 (ライン名)	-			-
	設 置 床	-			
	溢水防護上の区画番号	-			
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-			

(注1) 公称値

			変更前	変更後		
名称			-	ディーゼル建屋水密扉 (No. 1)		
種	類	-		片開扉		
主要寸法	た	て		mm		
	横			mm		
材料	板	材		-		
	補	強		材		-
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)			-		-
	設 置 床			-		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-		

(注1) 公称値

			変更前	変更後		
名称			-	ディーゼル建屋水密扉 (No. 2)		
種	類	-		片開扉		
主要寸法	た	て		mm		
	横			mm		
材料	板	材		-		
	補	強		材		-
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)			-		-
	設 置 床			-		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号			-		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			-		

(注1) 公称値

			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ディーゼル建屋水密扉 (No. 3)	
種 類	—	片開扉			
主要寸法	た て	mm			
	横	mm			
材 料	板 材	—			
	補 強 材	—			
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			—
	設 置 床	—			
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

(注1) 公称値

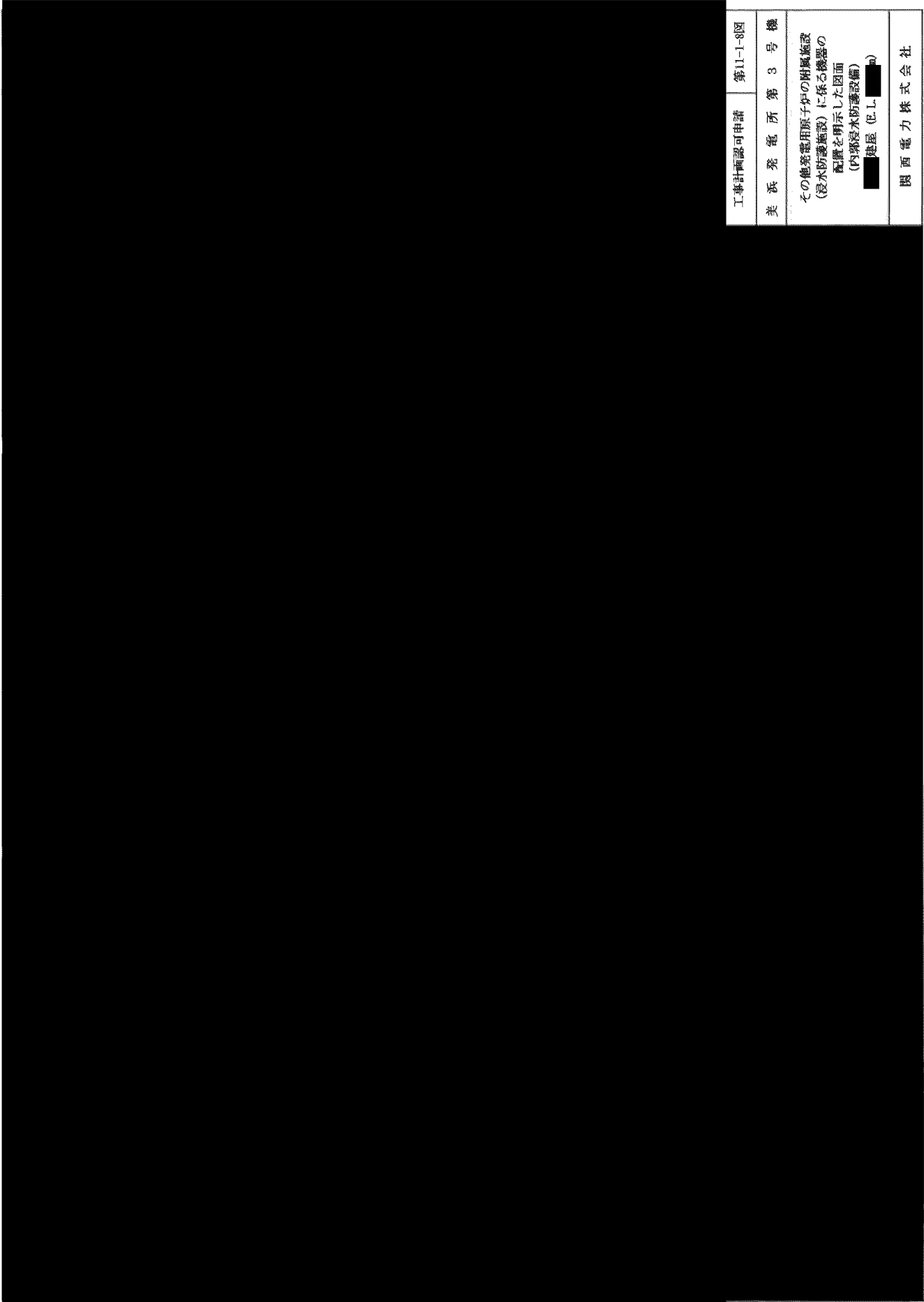
			変 更 前	変 更 後	
名 称			—	ディーゼル建屋水密扉 (No. 4)	
種 類	—	片開扉			
主要寸法	た て	mm			
	横	mm			
材 料	板 材	—			
	補 強 材	—			
取付箇所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—			—
	設 置 床	—			
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

(注1) 公称値

			変更前	変更後
名称			-	ディーゼル建屋水密扉 (No. 5)
種類				片開扉
主要寸法	たて	mm		[Redacted]
	横	mm		
材料	板材	-		
	補強材	-		
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		[Redacted]
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) 公称値

工事計画認可申請	第11-T-6図
美浜発電所	第3号機
その他発電用原子炉の耐風施設 (浸水防護施設)に係る機器の 配置を明示した図面 (内訳浸水防護設備) ■ 機屋 (E.L. ■ m) ■ 機屋 (E.L. ■ m)	
関西電力株式会社	

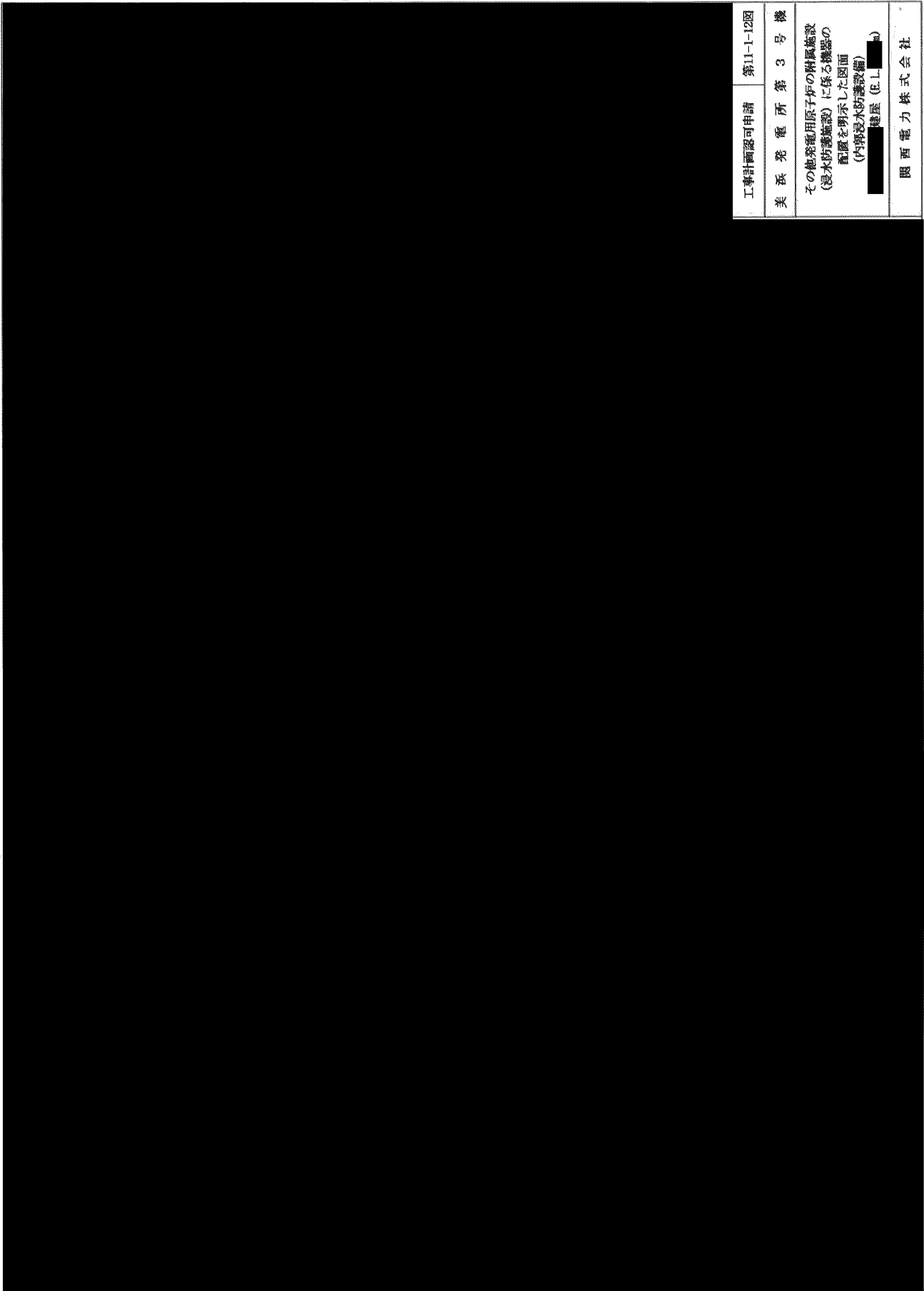


工事計画認可申請	第11-1-0図
美浜発電所	第3号機
その他発電用原子炉の附属施設 (海水防護施設)に係る機器の 配置を明示した図面 (内訳海水防護設備) [redacted] 健屋 (E.L. [redacted])	
関西電力株式会社	



工事計画認可申請	第11-1-10図
美浜発電所	第3号機
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設)に係る機器の 配置を明示した図面 (内訳浸水防護設備) ■ 建屋 (E.L. ■ a) ■ 建屋 (E.L. ■ b) ■ 建屋 (E.L. ■ c) ■ 建屋 (E.L. ■ d)	
関西電力株式会社	

工業計画認可申請	第11-1-11図
美浜発電所	第3号機
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設)に係る機器の 配置を明示した図面 (内部浸水防護設備)	
	建屋 (E.L. [redacted])
	建屋 (E.L. [redacted])
	建屋 (E.L. [redacted])
	建屋 (E.L. [redacted])
関西電力株式会社	



工事計画認可申請	第11-1-12回
美浜発電所第3号機	
その他発電用原子炉の附属施設 (浸水防護施設)に係る機器の 配管を明示した図面 (内部浸水防護設備) [REDACTED] (E.L. [REDACTED])	
関西電力株式会社	

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-34-1

令和2年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-34-1

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年9月9日
至 令和2年11月24日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号 (平成29年12月15日) 関原発第427号 (平成30年 3月16日) 関原発第 62号 (平成30年 4月20日) 関原発第158号 (平成30年 6月25日) 関原発第201号 (平成30年 7月 4日) 関原発第414号 (平成30年12月 5日) 関原発第517号 (平成31年 2月 6日) 関原発第 61号 (2019年 5月16日) 関原発第121号 (2019年 6月28日) 関原発第167号 (2019年 7月25日) 関原発第216号 (2019年 9月 2日) 関原発第640号 (2020年 3月24日) 関原発第650号 (2020年 3月30日) 関原発第 30号 (2020年 4月 7日) 関原発第239号 (2020年 8月21日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号: 1-34-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月9日	良	須貝実 [Redacted]	発電用原子炉主任技術者 [Redacted] 松本一・ウービシ主任技術者 [Redacted]	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-34-1

検査年月日：令和2年 9月 9日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-34-1

検査年月日：令和2年 9月 9日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・◎—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-34-1

検査年月日：令和2年 9月 9日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備 防水区画構造物 泥水対策壁 1、2 海水管トレンチ浸水防止蓋 1、2 海水管トレンチ浸水防止蓋 3 別添 1 参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">良</div>	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0505、M3-3-0502 ・目視で確認した範囲：添付資料 3-3 参照			

その他発電用原子炉の附属施設

5 浸水防護施設

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

			変更前	変更後
名 称				泥水対策壁1、2
種	類	-		鋼製壁
主要寸法	高さ	m		1.6 以上 (注1)
	厚さ	mm		11.35 (注2) (12 (注2,3))
材料	支柱	-		SS400
	鋼板	-		SM400
	アンカーボルト	-		SD345
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) E.L. ■■■mからの鋼板高さ (E.L. ■■■m以上)

(注2) 鋼板厚さ

(注3) 公称値

			変更前	変更後
名 称				海水管トレンチ浸水防止蓋1、2
種	類	-		DG前蓋
主要寸法	たて	mm		1,700 (注1)
	横	mm		1,800 (注1)
	厚さ	mm		24.5 (25 (注1))
材	料	-		SUS316
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		

(注1) 公称値

			変更前	変更後
名称				海水管トレンチ浸水防止蓋3
種類		—		マンホール
主要寸法	外径	mm		750 (注1)
	厚さ	mm		19.5 (20 (注1))
材料				SUS316
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

検査結果一覧表

成績書管理番号: I-34-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 11月5日	良	須貝実	ボロ-7-7 主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-34-1

検査年月日：令和2年 11月 5日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-34-1

検査年月日：令和2年 11月 5日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・一	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-34-1

検査年月日：令和2年 11月 5日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備 防水区画構造物 区画壁 区画床 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 10px; display: inline-block;">記録確認</div>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0403 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

その他発電用原子炉の附属施設

5 浸水防護施設

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

原規規発第1610261号
平成28年10月26日

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画壁 (E.L. ■■■ m)
種類			—	区画壁
主要寸法	鉄板	mm		8.45 (注1)
	支持鉄骨 ^(注2)	mm		7.3×11 ^(注3) (200×200×8×12) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		8.3 ^(注5) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注1)
材料	鉄板			SM490
	支持鉄骨	—		SM490
	補強リブ			SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,500mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注7) 取付範囲は中間建屋E.L. ■■■ m床から天井

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画壁 (E.L. ■■■■■m)
種	類	—		区画壁
主要寸法	鉄板	mm		8.45 (9 ^(注1))
	支持鉄骨 ^(注2)	mm		7.3×11 ^(注3) (200×200×8×12) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		12.2 ^(注5) (90×90×13) ^(注1) 6.3×10 ^(注6) (122×175×7×11) ^(注1)
材料	鉄板	—		SM490
	支持鉄骨	—		SM490
	補強リブ	—		SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		■■■■■
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,500mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「13」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「7×11」の設計確認値

(注7) 取付範囲は中間建屋E.L. ■■■■■m床から天井

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画壁 (E.L. ■■■■■m)
種類		—		区画壁
主要寸法	鉄板	mm		8.45 (9 ^(注1))
	支持鉄骨 ^(注2)	mm		7.3×11 ^(注3) (200×200×8×12) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		8.3 ^(注5) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注1)
材料	鉄板			SM490
	支持鉄骨	—		SM490
	補強リブ			SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		■■■■■
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,500mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注7) 取付範囲は中間建屋E.L. ■■■■■m床から天井

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管ディーゼル建屋区画壁 (E.L. ■■■mm)
種類		—		区画壁
主要寸法	鉄板	mm		11.45 (12 ^(注1))
	支持鉄骨 ^(注2)	mm		9.3×14 ^(注3) (300×300×10×15) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		8.3 ^(注5) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注1)
材料	鉄板			SM490
	支持鉄骨	—		SM490
	補強リブ			SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		■■■■■
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,150mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「10×15」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注7) 取付範囲はディーゼル建屋E.L. ■■■mm床から天井

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. ■■■ mm) 1、3
種	類	—		区画床
主要寸法	床板	mm		5.5 (注1)
	根太 (注2)	mm		5.3×8 (注3) (194×150×6×9) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		5.5 (注5) (75×6) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SS400
	根太	—		SM490
	補強リブ			SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		■■■■■
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. XXXXXXXXXX) 2、5
種	類	—		区画床
主要寸法	床板	mm		5.5 (注1)
	根太 (注2)	mm		8.2×12 (注3) (250×90×9×13) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		5.5 (注5) (75×6) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SS400
	根太	—		SS400
	補強リブ			SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は700mm以下とする。

(注3) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. m) 4
種	類	—		区画床
主要寸法	床板	mm		5.5 (注1)
	根太 (注2)	mm		5.7×9 (注3) (150×75×6.5×10) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		5.5 (注5) (75×6) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SS400
	根太			SS400
	補強リブ			SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は700mm以下とする。

(注3) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. XXXXXXXXXX m)
種	類	—		区画床
主要寸法	床板	mm		8.45 (9 ^(注1))
	根太 ^(注2)	mm		8.3×13 ^(注3) (250×250×9×14) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		8.3 ^(注5) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注1)
材料	床板			SM490
	根太	—		SS400
	補強リブ			SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注4) 取付間隔は333mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CI形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. m) 1
種	類	—		区画床
主要 寸法	床板	mm		5.5 (注1)
	根太 (注2)	mm		5.3×8 (注3) (194×150×6×9) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		5.5 (注5) (75×6) (注1) 5.3×8 (注3) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SS400
	根太	—		SM490
	補強リブ			SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. m) 2
種	類	—		区画床
主要寸法	床板	mm		8.45 (9 ^(注1))
	根太 ^(注2)	mm		5.7×9 ^(注3) (150×75×6.5×10) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		8.3 ^(注5) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注1)
材料	床板			SM490
	根太	—		SS400
	補強リブ			SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注3) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. m) 3
種	類	—		区画床
主要寸法	床板	mm		5.5 (注1)
	根太 (注2)	mm		8.2×12 (注3) (250×90×9×13) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		5.5 (注5) (75×6) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SS400
	根太	—		SS400
	補強リブ			SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は700mm以下とする。

(注3) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. m) 4
種	類	—		区画床
主要 寸法	床板	mm		8.45 (9 ^(注1))
	根太 ^(注2)	mm		8.3×13 ^(注3) (250×250×9×14) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		8.3 ^(注5) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注1)
材料	床板			SM490
	根太	—		SS400
	補強リブ			SM490
取付 箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注4) 取付間隔は333mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

その他発電用原子炉の附属施設

5 浸水防護施設

原規規発第1806202号
平成30年6月20日

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)1、3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)1
主要寸法	種類	—	区画床	変更なし
	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (注1)
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	4.05 ^(注4) (150×80×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—
	設置床	—	[]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[]	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[]	—

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は420mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称			変更前	変更後
			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m) 1, 3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m) 1
種	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注3)	4.05 (注4) (2-150×80×4.5 (注5))
	補強リブ	mm	5.5 (注7) (75×6) (注8) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注8)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SM490	STKR490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	-
	設置床	-	[]	-
	溢水防護上の 区画番号	-	[]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[]	-

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は650mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) C形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称			変更前	変更後	
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)1、3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)1	
種	類	-	区画床	変更なし	
主要寸法	床	板	mm	5.5 (8 ^(注1))	15.35 (16 ^(注1))
	根	太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注5)) 4.05 ^(注6) (2-160×4.5 ^(注5))
	補強リブ	ブ	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	-
材料	床	板	-	SS400	SM490
	根	太	-	SM490	STKR490, SM490
	補強リブ	ブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	-	-
	設置床	-	[]	-	-
	溢水防護上の 区画番号	-	[]	-	-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[]	-	変更なし

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称			変更前		変更後	
			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m) 1、3		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m) 1	
主要寸法	種	類	区画床		変更なし	
	床	板	mm	5.5 (6 ^(注1))	15.35 (16 ^(注1))	
	根	太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	6.3×9 ^(注4) (150×150×7×10) ^(注5)	
材料	補強リブ	ブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	-	
	床	板	-	SS400	SM190	
	根	太	-	SM190	変更なし	
取付箇所	補強リブ	ブ	-	SS400	-	
	系統名 (ライン名)		-	-	-	
	設置床		-	[]	-	
	溢水防護上の 区画番号		-	[]	-	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		-	[]	-	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×10」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,030mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m) 2
種	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (注1)
	根太	mm	8.2×12 (注2) (250×90×9×13) (注3, 注4)	4.05 (注1) (200×100×4.5 (注1, 注5))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	STKR490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	-
	設置床	-	[]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	-	[]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は310mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称		変更前	変更後
		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2
種	類	区画床	変更なし
主要寸法	床板	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-200×100×1.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	-
材料	床板	SS400	SM490
	根太	SS400	STKR490
	補強リブ	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-
	設置床	[]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	[]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	[]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は390mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 2
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床	板	mm 5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根	太	mm 8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-200×100×4.5 ^(注5)) 4.05 ^(注4) (2-200×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	—
材料	床	板	SS400	SM490
	根	太	SS400	STKR490, SM490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—
	設置床	—	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[redacted]	変更なし

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は710mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称			変更前	変更後
			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2
種	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (6 ^(注1))	15.35 (16 ^(注1))
	根太	mm	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	7.3×11 ^(注4) (200×200×8×12 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	SM490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	-
	設置床	-	[]	-
	溢水防護上の 区画番号	-	[]	-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[]	-
				変更なし

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注5) 取付間隔は850mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称			変更前	変更後
			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)1、3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)3
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床	板	mm 5.5 (注1)	4.05 (4.5 (注1))
	根	太	mm 5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注3)	4.05 (注1) (150×80×4.5 (注4.5))
	補強リブ(注5)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	—
材料	床	板	SS400	SM490
	根	太	—	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		
	設置床	—	[]	
	溢水防護上の 区画番号	—	[]	変更なし
	溢水防護上の 配管が必要な高さ	—	[]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は340mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称			変更前	変更後
			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m) 1, 3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m) 3
種	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SM490	STKR490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	-
	設置床	-	[]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	-	[]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[]	変更なし

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は500mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称			変更前	変更後
			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m) 1, 3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m) 3
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (16 (注1))
	根太	mm	5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注4,5)	4.05 (注1) (2-150×80×4.5 (注4,5)) 4.05 (注1) (2-160×4.5 (注4,5))
	補強リブ(注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490, SM490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—
	設置床	—	[]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[]	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[]	—

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は850mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称			変更前	変更後
			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 1、3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 3
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (6 ^(注1))	15.35 (16 ^(注1))
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	6.3×9 ^(注4) (150×150×7×10) ^(注5)
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	変更なし
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—
	設置床	—	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[redacted]	変更なし

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×10」の設計確認値

(注5) 取付間隔は800mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 4	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (6 ^(注1))	4.05 (4.5 ^(注1))
	根太	mm	5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注3)	4.05 ^(注1) (150×80×4.5 ^(注4))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SS400	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	
	設置床	—	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は300mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 4	変更なし
種類	種	類	区画床	
主要寸法	床	板	mm 5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根	太	mm 5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注5))
	補強リブ	注6)	mm 5.5 ^(注7) (75×6) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	-
材料	床	板	SS400	SM490
	根	太	SS400	STKR490
	補強リブ		SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)		-	
	設置床		[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号		[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ		[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は570mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) ↓	変更なし
種	類	-	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (16(注1))
	根太	mm	5.7×9(注2) (150×75×6.5×10) (注3)	4.05(注4) (2-150×80×4.5(注5)) 4.05(注4) (2-160×4.5(注5))
	補強リブ	mm	5.5(注7) (75×6) (注1) 5.3×8(注8) (97×150×6×9) (注1)	-
	床板	-	SS400	SM490
材料	根太	-	SS400	STKR490, SM490
	補強リブ	-	SS400	-
	系統名 (ライン名)	-	-	-
取付箇所	設置床	-	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,130mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称		変更前	変更後
		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) ↓	変更なし
種	類	区画床	
主要寸法	床板	mm 5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm 5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注3)	6.3×9 ^(注4) (150×150×7×10) ^(注4,5)
	補強リブ ^(注6)	mm 5.5 ^(注7) (75×6) ^(注7) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注7)	—
材料	床板	SS400	SM490
	根太	SS400	SM490
	補強リブ	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—
	設置床	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×10」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,130mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 5
種類	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (4.5 ^(注1))
	根太	mm	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	1.05 ^(注4) (200×100×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	STKR490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	-
	設置床	-	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は310mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)5
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注1,注3)	4.05 ^(注1) (2-200×100×4.5 ^(注1,注4))
	補強リブ ^(注5)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SS400	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	[]	
	溢水防護上の 区画番号	—	[]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は470mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m) 5
種	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床	板	mm 5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根	太	mm 8.2×12 (注2) (250×90×9×13) (注3)	4.05 (注4) (2-200×100×4.5 (注5)) 4.05 (注4) (2-200×4.5 (注5))
	補強リブ	ブ	mm 5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	-
材料	床	板	-	SS400
	根	太	-	SS400
	補強リブ	ブ	-	SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	-
	設置床	-	[]	-
	溢水防護上の 区画番号	-	[]	-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[]	-

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は860mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称		変更前		変更後	
		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [REDACTED] m) 2.5		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [REDACTED] m) 5	
種	類	-	区画床	変更なし	
主要寸法	床板	mm	5.5 (6 ^(注1))	15.35 (16 ^(注1))	
	根太	mm	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注1,3)	7.3×11 ^(注1) (200×200×8×12) ^(注1,5)	
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-	
材料	床板	-	SS400	SM490	
	根太	-	SS400	SM490	
	補強リブ	-	SS400	-	
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	-	
	設置床	-	[REDACTED]	-	
	溢水防護上の 区画番号	-	[REDACTED]	-	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[REDACTED]	-	
				変更なし	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m)	
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	8.45 (9 ^(注1))	
	根太	mm	8.3×13 ^(注2) (250×250×9×14) ^(注1,3) / 6.3×10 ^(注1) (244×175×7×11) ^(注1,2)	
	補強リブ	mm	8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注1) / 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	
材料	床板	—	SM490	
	根太	—	SS400	
	補強リブ	—	SM490	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	
	設置床	—	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	—	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×11」の設計確認値

(注5) 取付間隔は600mm以下とする。

(注6) 取付間隔は333mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称		変更前	変更後
		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m)	変更なし
種	類	-	区画床
主要寸法	床板	mm 8.45 (9 ^(注1))	21.35 (22 ^(注1))
	根太	mm 8.3×13 ^(注2) (250×250×9×14) ^(注3)	8.3×13 ^(注4) (250×250×9×14) ^(注5)
	補強リブ ^(注6)	mm 8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注4)	-
材料	床板	-	SM490
	根太	-	SS400
	補強リブ	-	SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-
	設置床	-	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	-	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,420mm以下とする。

(注6) 取付間隔は333mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・上給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [REDACTED] m) 1	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (注1)
	根太	mm	5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注3)	4.05 (注1) (150×80×4.5 (注4))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	
	設置床	—	[REDACTED]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[REDACTED]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[REDACTED]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は430mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床 (E.L. [redacted] m)	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注3)	4.05 (注4) (2-150×80×4.5 (注5))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—
	設置床	—	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は900mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称			変更前 主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [REDACTED] m) 1	変更後 変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (16 ^(注1))
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注5)) 4.05 ^(注6) (2-160×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490, SM490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	
	設置床	—	[REDACTED]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[REDACTED]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[REDACTED]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,620mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 1	変更なし
種	類	-	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	6.3×9 ^(注4) (150×150×7×10) ^(注5)
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注3)	-
材料	床板	-	SS400	SM190
	根太	-	SM190	変更なし
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	-
	設置床	-	[redacted]	-
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	-
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	-

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×10」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,620mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [] m) 2	変更なし
種	類	=	区画床	
主要寸法	床板	mm	8.45 ^(注1)	4.05 (4.5 ^(注1))
	根太	mm	5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注3)	4.05 ^(注1) (150×80×4.5 ^(注1,5))
	補強リブ ^(注6)	mm	8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注4) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注5)	—
材料	床板	—	SM490	変更なし
	根太	—	SS400	STKR490
	補強リブ	—	SM490	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—
	設置床	—	[]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[]	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[]	—

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は320mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称		変更前	変更後
		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [REDACTED] m) 2	変更なし
種	類	区画床	
主要寸法	床板	mm 8.45 (9 ^(注1))	8.45 (9 ^(注1))
	根太	mm 5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm 8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	—
材料	床板	SM490	変更なし
	根太	SS400	STKR490
	補強リブ	SM490	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—
	設置床	[REDACTED]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	[REDACTED]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	[REDACTED]	変更なし

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は680mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

		変更前	変更後
名称		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [REDACTED] m) 2	変更なし
種	類	区画床	
主要寸法	床板	mm 8.45 (9 ^(注1))	15.35 (16 ^(注1))
	根太	mm 5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注5)) 4.05 ^(注4) (2-160×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm 8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注3)	-
材料	床板	SM490	変更なし
	根太	SS400	STKR490, SM490
	補強リブ	SM490	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-
	設置床	[REDACTED]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	[REDACTED]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	[REDACTED]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,230mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

		変更前	変更後
名称		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 3	変更なし
種	類	区画床	
主要寸法	床板 mm	5.5 (6 ^(注7))	4.05 (4.5 ^(注1))
	根太 mm	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	4.05 ^(注4) (200×100×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6) mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板	SS400	SM490
	根太	SS400	STKR490
	補強リブ	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)		
	設置床	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は300mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称		変更前	変更後
		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床 (E.L. m) 3	変更なし
種	類	区画床	
主要寸法	床板	mm 5.5 (6 ^(注1))	8.45 (9 ^(注1))
	根太	mm 8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-200×100×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm 5.5 ^(注7) (75×6) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	-
材料	床板	SS400	SM490
	根太	SS400	STKR490
	補強リブ	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	
	設置床	-	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	-	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は420mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床 (E.L. [REDACTED] m) 3	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 ^(注1)	15.35 (16 ^(注1))
	根太	mm	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-200×100×4.5 ^(注4,5)) 4.05 ^(注4) (2-200×4.5 ^(注4,5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SS400	STKR490, SM490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—
	設置床	—	[REDACTED]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[REDACTED]	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[REDACTED]	—

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は780mm以下とする。

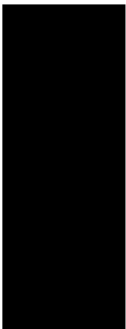
(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-34-1

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 11月24日	良	渋谷 徹	ぶら-、4-7-11 主任技術者 	なし

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-34-1

検査年月日：令和2年 11月 24日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-34-1

検査年月日：令和2年 11月 24日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・◎	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・◎	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-34-1

検査年月日：令和2年11月24日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備 防水区画構造物 区画壁 区画床 別添1参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観検査 ・ 組立て及び据付け状態を確認する検査 	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	日視 (記録確認)
備考 ・ 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-0403 ・ 目視で確認した範囲：			

その他発電用原子炉の附属施設

5 浸水防護施設

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

原規規発第1610261号
平成28年10月26日

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画壁 (E.L. ■■■■■m)
種	類	—		区画壁
主要寸法	鉄板	mm		8.45 (注1)
	支持鉄骨 (注2)	mm		7.3×11 (注3) (200×200×8×12) (注1)
	補強リップ (注4)	mm		8.3 (注5) (75×75×9) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	鉄板	—		SM490
	支持鉄骨	—		SM490
	補強リップ	—		SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		■■■■■
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,500mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CI形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注7) 取付範囲は中間建屋E.L. ■■■■■m床から天井

別添1 (2/47) (令和2年11月24日)

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画壁 (E.L. [redacted] m)
種	類	—		区画壁
主要寸法	鉄板	mm		8.45 (9 ^(注1))
	支持鉄骨 ^(注2)	mm		7.3×11 ^(注3) (200×200×8×12) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		12.2 ^(注5) (90×90×13) ^(注1) 6.3×10 ^(注6) (122×175×7×11) ^(注1)
材料	鉄板			SM490
	支持鉄骨	—		SM490
	補強リブ			SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		[redacted]
	溢水防護上の 区画番号	—		[redacted]
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		[redacted]

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,500mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「13」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「7×11」の設計確認値

(注7) 取付範囲は中間建屋E.L. [redacted] m床から天井

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画壁 (E.L. m)
種	類	—		区画壁
主要寸法	鉄板	mm		8.45 (9 ^(注1))
	支持鉄骨 ^(注2)	mm		7.3×11 ^(注3) (200×200×8×12) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		8.3 ^(注5) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注1)
材料	鉄板	—		SM490
	支持鉄骨	—		SM490
	補強リブ	—		SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,500mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注7) 取付範囲は中間建屋E.L. m床から天井

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管ディーゼル建屋区画壁 (E.L. ■■■■■m)
種類		—		区画壁
主要寸法	鉄板	mm		11.45 (12 ^(注1))
	支持鉄骨 ^(注2)	mm		9.3×14 ^(注3) (300×300×10×15) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		8.3 ^(注5) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注1)
材料	鉄板			SM490
	支持鉄骨	—		SM490
	補強リブ			SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		■■■■■
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,150mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「10×15」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注7) 取付範囲はディーゼル建屋E.L. ■■■■■m床から天井

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. mm) 1、3
種	類	—		区画床
主要寸法	床板	mm		5.5 (注1)
	根太 (注2)	mm		5.3×8 (注3) (194×150×6×9) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		5.5 (注5) (75×6) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SS400
	根太	—		SM490
	補強リブ			SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. m) 2、5
種	類	—		区画床
主要寸法	床板	mm		5.5 (注1)
	根太 (注2)	mm		8.2×12 (注3) (250×90×9×13) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		5.5 (注5) (75×6) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SS400
	根太	—		SS400
	補強リブ			SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は700mm以下とする。

(注3) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. m) 4
種	類	—		区画床
主要寸法	床板	mm		5.5 (注1)
	根太 (注2)	mm		5.7×9 (注3) (150×75×6.5×10) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		5.5 (注5) (75×6) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SS400
	根太	—		SS400
	補強リブ			SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は700mm以下とする。

(注3) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. ■■■■ m)
種類		—		区画床
主要寸法	床板	mm		8.45 (9 ^(注1))
	根太 ^(注2)	mm		8.3×13 ^(注3) (250×250×9×14) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		8.3 ^(注5) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注1)
材料	床板			SM490
	根太	—		SS400
	補強リブ			SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注4) 取付間隔は333mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. [redacted] m) 1
種	類			区画床
主要寸法	床板	mm		5.5 (注1)
	根太 (注2)	mm		5.3×8 (注3) (194×150×6×9) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		5.5 (注5) (75×6) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SS400
	根太	-		SM490
	補強リブ			SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		-
	設置床	-		[redacted]
	溢水防護上の 区画番号	-		[redacted]
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		[redacted]

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. m) 2
種類		—		区画床
主要寸法	床板	mm		8.45 (9 ^(注1))
	根太 ^(注2)	mm		5.7×9 ^(注3) (150×75×6.5×10) ^(注1)
	補強リブ ^(注4)	mm		8.3 ^(注5) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注1)
材料	床板			SM490
	根太	—		SS400
	補強リブ			SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注3) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E.L. m) 3
種類		—		区画床
主要寸法	床板	mm		5.5 (注1)
	根太 (注2)	mm		8.2×12 (注3) (250×90×9×13) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		5.5 (注5) (75×6) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SS400
	根太	—		SS400
	補強リブ			SS400
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は700mm以下とする。

(注3) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注4) 取付間隔は500mm以下とする。

(注5) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称				主蒸気配管・主給水配管中間建屋 区画床 (E. L. ■■■■) 4
種類		—		区画床
主要寸法	床板	mm		8.45 (注1)
	根太 (注2)	mm		8.3×13 (注3) (250×250×9×14) (注1)
	補強リブ (注4)	mm		8.3 (注5) (75×75×9) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)
材料	床板			SM490
	根太	—		SS400
	補強リブ			SM490
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		—
	設置床	—		■■■■
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注3) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注4) 取付間隔は333mm以下とする。

(注5) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注6) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

その他発電用原子炉の附属施設

5 浸水防護施設

原規規発第1806202号
平成30年6月20日

2 内郭浸水防護設備に係る次の事項

(1) 防水区画構造物の名称、種類、主要寸法、材料及び取付箇所

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. ■■■■m) 1, 3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. ■■■■m) 1
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (注1)
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	4.05 ^(注1) (150×80×4.5 ^(注1,5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	■■■■	
	溢水防護上の 区画番号	—	■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	■■■■	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は420mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. ■■■m)1、3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. ■■■m)1
種類		—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注1,3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注1,5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	■■■■■	
	溢水防護上の 区画番号	—	■■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	■■■■■	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は650mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m) 1, 3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m) 1
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床	板 mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根	太 mm	5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注1,5)	4.05 (注4) (2-150×80×4.5 (注1,5)) 4.05 (注4) (2-160×4.5 (注1,5))
	補強リブ	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	—
材料	床	板	SS400	SM490
	根	太	SM490	STKR490, SM490
	補強リブ		SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

名称			変更前	変更後
			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted]m) 1、3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted]m) 1
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注4)
	根太	mm	5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注1,3)	6.3×9 (注3) (150×150×7×10 (注1,5))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	変更なし
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	—	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×10」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,030mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m) 2
種	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (4.5 ^(注1))
	根太	mm	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	4.05 ^(注4) (200×100×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	STKR190
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	-
	設置床	-	[]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	-	[]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は310mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2
種類		—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	8.2×12 (注2) (250×90×9×13) (注3)	4.05 (注4) (2-200×100×4.5 (注5))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注8) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注8)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SS400	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—
	設置床	—	[]	—
	溢水防護上の 区画番号	—	[]	—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[]	—
				変更なし

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は390mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	8.2×12 (注2) (250×90×9×13) (注3)	4.05 (注4) (2-200×100×4.5 (注1,5)) 4.05 (注4) (2-200×4.5 (注1,5))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SS400	STKR490, SM190
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—
	設置床	—	[]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[]	変更なし

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は710mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2
種	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	8.2×12 (注2) (250×90×9×13) (注3)	7.3×11 (注4) (200×200×8×12 (注5))
	補強リブ(注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	SM490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		
	設置床	-		
	溢水防護上の 区画番号	-		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-		
				変更なし

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注5) 取付間隔は850mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m) 1、3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m) 3
種類		—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (注1)
	根太	mm	5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注3)	4.05 (注4) (150×80×4.5 (注5))
	補強リブ(注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注8) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注8)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		変更なし

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は340mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)1、3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)3
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注1,3)	4.05 (注4) (2-150×80×4.5 (注1,5))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	[]	
	溢水防護上の 区画番号	—	[]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は500mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 1, 3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 3
種類			区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 ^(注1)	15.35 ^(注1)
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注1,5)) 4.05 ^(注1) (2-160×4.5 ^(注1,5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板		SS400	SM490
	根太	-	SM490	STKR490, SM490
	補強リブ		SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	変更なし
	設置床	-	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は850mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. ■■■m) 1、3	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. ■■■m) 3
種	類	—	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	6.3×9 ^(注1) (150×150×7×10) ^(注1.5)
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	変更なし
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—
	設置床	—	■■■■■	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	■■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	■■■■■	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×10」の設計確認値

(注5) 取付間隔は800mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. m) 4	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (注1)
	根太	mm	5.7×9 (注2) (150×75×6.5×10) (注3)	4.05 (注4) (150×80×4.5 (注5))
	補強リブ(注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注8) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注8)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SS400	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—		
	溢水防護上の 区画番号	—		
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は300mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. ■■■■■m) 4	変更なし
種	類	-	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	5.7×9 (注2) (150×75×6.5×10) (注3)	4.05 (注4) (2-150×80×4.5 (注5))
	補強リブ(注8)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注6) (97×150×6×9) (注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	STKR490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	変更なし
	設置床	-	■■■■■	
	溢水防護上の 区画番号	-	■■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	■■■■■	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は570mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 1	変更なし
種	類	-	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	5.7×9 (注2) (150×75×6.5×10) (注1,3)	4.05 (注4) (2-150×80×4.5 (注1,5)) 4.05 (注4) (2-160×4.5 (注1,5))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	STKR490, SM490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	
	設置床	-	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,130mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸汽配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 4	変更なし
種	類	-	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注1,3)	6.3×9 ^(注4) (150×150×7×10) ^(注1,5)
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	SM490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	
	設置床	-	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×10」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,130mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 5
種	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (注1)
	根太	mm	8.2×12 (注2) (250×90×9×13) (注1,3)	4.05 (注1) (200×100×4.5 (注1,3))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	STKR490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	変更なし
	設置床	-	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は310mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)5
種	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	8.2×12 (注2) (250×90×9×13) (注1,3)	4.05 (注4) (2-200×100×4.5 (注1,5)) 4.05 (注4) (2-200×4.5 (注1,5))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	STKR490, SM490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	変更なし
	設置床	-	[]	
	溢水防護上の 区画番号	-	[]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は860mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)2、5	主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. []m)5
種	類	-	区画床	変更なし
主要寸法	床板	mm	5.5 (6 ^(注1))	15.35 (16 ^(注1))
	根太	mm	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	7.3×11 ^(注2) (200×200×8×12) ^(注3)
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	SM490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	変更なし
	設置床	-	[]	
	溢水防護上の 区画番号	-	[]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床 (E.L. ■■■■■ mm)	
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	8.45 (注1)	
	根太	mm	8.3×13 ^(注2) (250×250×9×14) ^(注3) (注4) (244×175×7×11) ^(注5)	
	補強リブ ^(注6)	mm	8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	
材料	床板	—	SM490	
	根太	—	SS400	
	補強リブ	—	SM490	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	
	設置床	—	■■■■■	
	溢水防護上の 区画番号	—	■■■■■	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	■■■■■	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×11」の設計確認値

(注5) 取付間隔は600mm以下とする。

(注6) 取付間隔は333mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床 (E. L. [redacted] m)	変更なし
種類		—	区画床	
主要寸法	床板	mm	8.45 (9 ^(注1))	21.35 (22 ^(注1))
	根太	mm	8.3×13 ^(注2) (250×250×9×14) ^(注3)	8.3×13 ^(注4) (250×250×9×14) ^(注5)
	補強リブ ^(注6)	mm	8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注8)	—
材料	床板	—	SM490	変更なし
	根太	—	SS400	SM490
	補強リブ	—	SM490	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	—	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,420mm以下とする。

(注6) 取付間隔は333mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 1	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (4.5 ^(注1))
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注3)	4.05 ^(注1) (150×80×4.5 ^(注4))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		
	設置床	—	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は430mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床 (E.L. [REDACTED] m) I	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注1,3)	4.05 (注4) (2-150×80×4.5 (注1,5))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	
	設置床	—	[REDACTED]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[REDACTED]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[REDACTED]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は900mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 1	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	5.3×8 ^(注2) (194×150×6×9) ^(注1,3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注1,3)) 4.05 ^(注4) (2-160×4.5 ^(注1,5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	STKR490, SM490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	—	[redacted]	
	溢水防護上の 配感が必要な高さ	—	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,620mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) C形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

		変更前		変更後
名称		主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [REDACTED] m) 1		変更なし
種類	—	区画床		
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	5.3×8 (注2) (194×150×6×9) (注3)	6.3×9 (注4) (150×150×7×10) (注5)
	補強リブ(注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注8) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注8)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SM490	変更なし
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	
	設置床	—	[REDACTED]	
	溢水防護上の 区画番号	—	[REDACTED]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[REDACTED]	

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,000mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×10」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,620mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [REDACTED] m) 2	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床	板	mm 8.45 (注1)	4.05 (4.5 ^(注1))
	根	太	mm 5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注3)	4.05 ^(注4) (150×80×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)		mm 8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注8) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床	板	SM490	変更なし
	根	太	SS400	STKR490
	補強リブ		SM490	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	
	設置床	—	[REDACTED]	
	溢水防護上の 区画番号	—	[REDACTED]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[REDACTED]	変更なし

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は320mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 2	変更なし
種	類	-	区画床	
主要寸法	床板	mm	8.45 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注1,3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注1,4))
	補強リブ ^(注6)	mm	8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板	-	SM490	変更なし
	根太	-	SS400	STKR490
	補強リブ	-	SM490	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	
	設置床	-	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は680mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後	
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. m) 2		
種	類	—	区画床		
主要寸法	床	板	mm	8.45 (9 ^(注1))	15.35 (16 ^(注1))
	根	太	mm	5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注3)	4.05 ^(注4) (2-150×80×4.5 ^(注5)) 4.05 ^(注4) (2-160×4.5 ^(注5))
	補強リブ	ブ	mm	8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注8) 5.3×8 ^(注6) (97×150×6×9) ^(注4)	—
材料	床	板	—	SM490	変更なし
	根	太	—	SS400	STKR490, SM490
	補強リブ	ブ	—	SM490	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	—	変更なし
	設置床	—			
	溢水防護上の 区画番号	—			
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—			

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,230mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床 (E.L. [redacted] m) 2	変更なし
種	類	-	区画床	
主要寸法	床板	mm	8.45 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	5.7×9 ^(注2) (150×75×6.5×10) ^(注1,3)	6.3×9 ^(注4) (150×150×7×10) ^(注1,5)
	補強リブ ^(注6)	mm	8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板	-	SM490	変更なし
	根太	-	SS400	SM490
	補強リブ	-	SM490	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	変更なし
	設置床	-	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「6.5×10」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,100mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「7×10」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,230mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 3	変更なし
種類			区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	4.05 (4.5 ^(注1))
	根太	mm	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	4.05 ^(注4) (200×100×4.5 ^(注5))
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	—
材料	床板	—	SS400	SM490
	根太	—	SS400	STKR490
	補強リブ	—	SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	変更なし
	設置床	—	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	—	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は300mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床 (E.L. [redacted] m) 3	変更なし
種類	類	-	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	8.45 (注1)
	根太	mm	8.2×12 (注2) (250×90×9×13) (注1,3)	4.05 (注4) (2-200×100×4.5 (注1,5))
	補強リブ (注6)	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	STKR490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	変更なし
	設置床	-	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は420mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [REDACTED] m) 3	変更なし
種	類	—	区画床	
主要寸法	床	板 mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根	太 mm	8.2×12 (注2) (250×90×9×13) (注3)	4.05 (注4) (2-200×100×4.5 (注5)) 4.05 (注4) (2-200×4.5 (注5))
	補強リブ	mm	5.5 (注7) (75×6) (注1) 5.3×8 (注8) (97×150×6×9) (注1)	—
材料	床	板	SS400	SM490
	根	太	SS400	STKR490, SM490
	補強リブ		SS400	—
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—	
	設置床	—	[REDACTED]	変更なし
	溢水防護上の 区画番号	—	[REDACTED]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	[REDACTED]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) 角形鋼管又は補強鋼板厚さ「4.5」の設計確認値

(注5) 取付間隔は780mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 3	変更なし
種	類	-	区画床	
主要寸法	床板	mm	5.5 (注1)	15.35 (注1)
	根太	mm	8.2×12 ^(注2) (250×90×9×13) ^(注3)	7.3×11 ^(注4) (200×200×8×12) ^(注5)
	補強リブ ^(注6)	mm	5.5 ^(注7) (75×6) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板	-	SS400	SM490
	根太	-	SS400	SM490
	補強リブ	-	SS400	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	
	設置床	-	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	変更なし
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	

(注1) 公称値

(注2) 溝形鋼厚さ「9×13」の設計確認値

(注3) 取付間隔は700mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注5) 取付間隔は910mm以下とする。

(注6) 取付間隔は500mm以下とする。

(注7) 平鋼厚さ「6」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

			変更前	変更後
名称			主蒸気配管・主給水配管 中間建屋 区画床(E.L. [redacted] m) 4	変更なし
種	類	-	区画床	
主要寸法	床板	mm	8.45 (注1)	21.35 (注1)
	根太	mm	8.3×13 ^(注2) (250×250×9×14) ^(注1,3)	7.3×11 ^(注4) (200×200×8×12) ^(注1,5)
	補強リブ ^(注6)	mm	8.3 ^(注7) (75×75×9) ^(注1) 5.3×8 ^(注8) (97×150×6×9) ^(注1)	-
材料	床板	-	SM490	変更なし
	根太	-	SS400	SM490
	補強リブ	-	SM490	-
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-	
	設置床	-	[redacted]	
	溢水防護上の 区画番号	-	[redacted]	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	-	[redacted]	変更なし

(注1) 公称値

(注2) H形鋼厚さ「9×14」の設計確認値

(注3) 取付間隔は1,200mm以下とする。

(注4) H形鋼厚さ「8×12」の設計確認値

(注5) 取付間隔は1,450mm以下とする。

(注6) 取付間隔は333mm以下とする。

(注7) 等辺山形鋼厚さ「9」の設計確認値

(注8) CT形鋼厚さ「6×9」の設計確認値

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99
成績書管理番号：1-34-2

令和2年5月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-34-2

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年5月29日
至 令和2年5月29日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録



検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：1-34-2

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
<p>令和2年 5月29日</p>	<p>良</p>	<p>大江 勇人 </p>	<p>発電用原子炉 主任技術者 </p>	<p>なし</p>

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
共通事項

成績書管理番号：1-34-2

検査年月日：令和2年 5月 29日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 (三号検査)

成績書管理番号：1-34-2

検査年月日：令和2年 5月 29日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・一	

設 備 概 要

原規規発第1610261号 (平成28年10月26日)

浸水防護施設

内郭浸水防護設備に係る次の事項

(2) 区画排水設備に係る次の事項

主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

・常設

変 更 前					変 更 後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
						区画排水設備	0	40	800 × 800	—	鉄筋 コンク リート
									900 × 4,800	—	鉄筋 コンク リート

変更前					変更後					
名称	最高使用		径厚	径厚	名称	最高使用		径厚	径厚	
	圧力	温度				圧力	温度			
	(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)		(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
					屋外排水路逆流防止設備(排水路) 1、2、3、4 4連排水路	0	-10	800 × 800	800	鉄筋 コンクリート

変更前					変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	径厚 (mm)	材料
						屋外排水路逆流防止設備 (排水路) 1、2、3、4 排水柵	0	40	750 × 1,700	-	鉄筋 コンク リート
区画排水設備											
						屋外排水路逆流防止設備 (排水路) 1、2、3、4 2連排水路	0	40	750 × 1,700	-	鉄筋 コンク リート

(注1) 内径を示す。

(注2) 1排水路当たりの寸法を示す。

(注3) 公称値

上海外灘源利中國	第11-1區
上海外灘源利中國 (香港註冊)有限公司 (開曼群島註冊)有限公司 (英屬處女群島註冊)有限公司 (英屬處女群島註冊)有限公司	
新西電力英文台	

個人(法人)名	住所	業種	備考
		業種	業種
		業種	業種

七の(株)東京電力(株)の子会社
(東京電力ホールディングス株式会社)
(四角)東京電力(株)
(四角)東京電力(株)

東京電力ホールディングス株式会社

関西電力株式会社
美浜発電所第3号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第1712152号99

成績書管理番号：1-35

令和2年6月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：1-35

- 1 発電所名 関西電力株式会社美浜発電所第3号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年6月10日
至 令和2年6月10日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	関原発第343号(平成29年12月15日) 関原発第427号(平成30年 3月16日) 関原発第 62号(平成30年 4月20日) 関原発第158号(平成30年 6月25日) 関原発第201号(平成30年 7月 4日) 関原発第414号(平成30年12月 5日) 関原発第517号(平成31年 2月 6日) 関原発第 61号(2019年 5月16日) 関原発第121号(2019年 6月28日) 関原発第167号(2019年 7月25日) 関原発第216号(2019年 9月 2日) 関原発第640号(2020年 3月24日) 関原発第650号(2020年 3月30日) 関原発第 30号(2020年 4月 7日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：1-35

検査年月日：令和2年 6月 10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-35

検査年月日：令和2年 6月 10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	◎良・⊖	

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
(三号検査)

成績書管理番号：1-35

検査年月日：令和2年 6月 10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象			
その他発電用原子炉の附属施設 非常用取水設備 取水設備 海水ポンプ室 : 1個			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認 ※1
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：M3-3-1303(その2) ・目視で確認した範囲：添付資料3-3および別紙5参照。 ※1：目視で確認した対象を除く範囲			

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
 (三号検査)
 (立会検査)

成績書管理番号：1-35

検査年月日：令和2年6月10日

検査場所：関西電力株式会社美浜発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
海水ポンプ室	寸法検査	別紙5参照	良	目視
海水ポンプ室	外観検査	-	良	
海水ポンプ室	組立て及び据付け状態を確認する検査	-	良	
備考				

関西電力株式会社美浜発電所第3号機 使用前検査記録
検査用計器一覧表

成績書管理番号：1-35

検査年月日：令和2年6月10日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	鋼製巻尺				2019年10月24日 2021年10月23日	L：測定長
寸法検査	手ばかり				2019年9月13日 2022年9月12日	
寸法検査	水銀棒状温度計				2019年9月11日 2022年9月10日	
以下余白						

設 備 概 要

その他発電用原子炉の附属施設

7 非常用取水設備

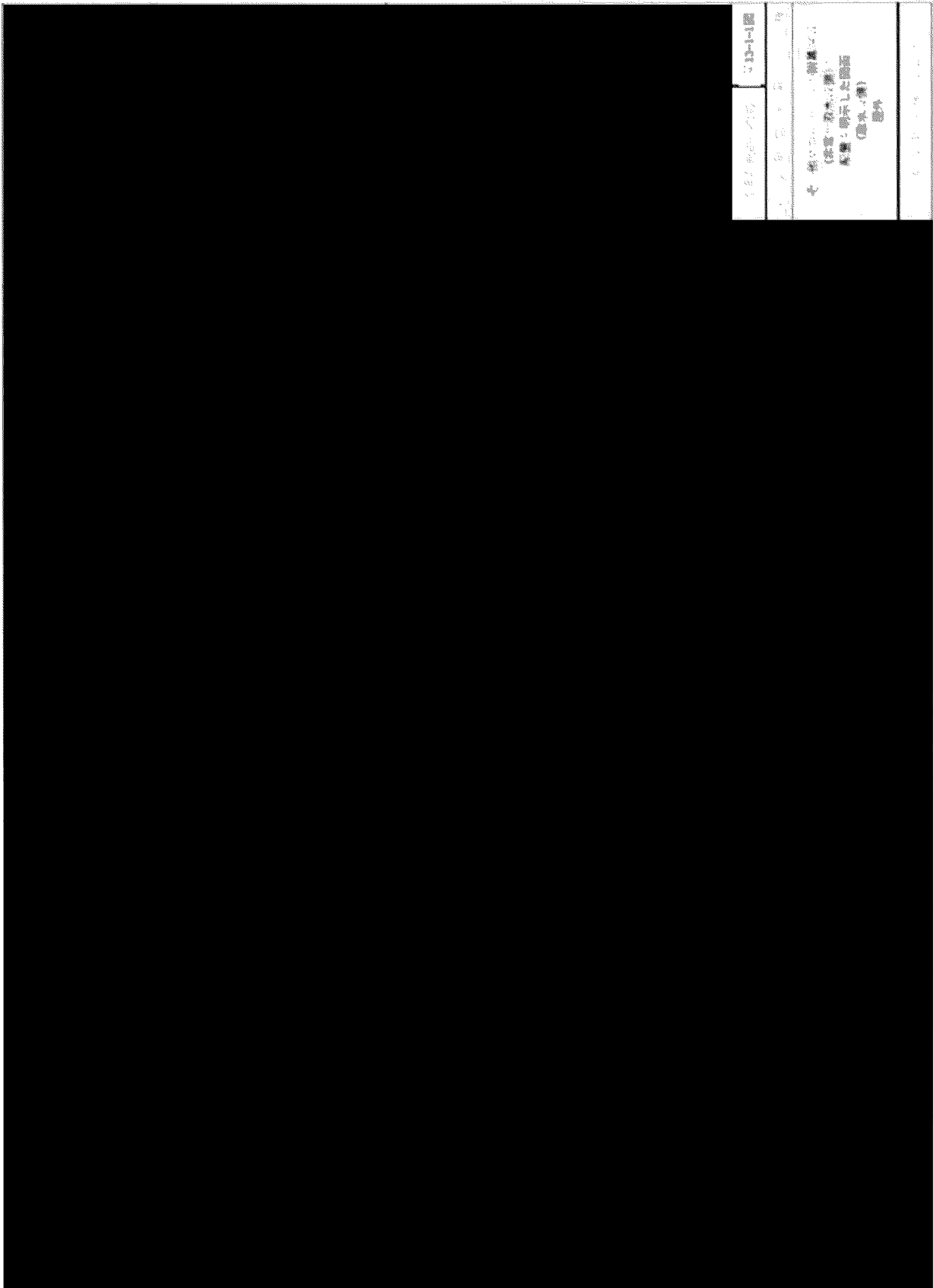
① 取水設備の名称、種類、容量、主要寸法、材料及び個数

			変 更 前	変 更 後
名 称				海水ポンプ室 ^(注1)
種	類			取水槽
容	量			(注2)
主要寸法	幅	mm		21,900 ^(注3)
	高さ	mm		14,970 ^(注3)
材	料			鉄筋コンクリート
個	数			1

(注1) 本設備は既存の設備である。

(注2) 海水ポンプ室の最低水位は基準津波に対する引波時においても、海水ポンプの設計取水可能水位を下回らない。

(注3) 公称値



1-1-1	1-1-1
（第17期） 第17期決算報告書 （第17期決算報告書） 第17期決算報告書	

寸法検査記録

検査対象	主要寸法 測定箇所	工事計画 記載値※1	許容値 ※2	確認値	検査年月日	検査 結果	検査方法
海水ポンプ室	幅	21,900 mm	最大値 21,915mm 最小値 21,890mm	21893 (21897) ※3	令和2年 6月10日	良	目視
	高さ	14,970 mm	最大値 14,980mm 最小値 14,960mm				
備考							
※1：工事計画記載値は公称値による。							
※2：許容値は工事計画による。							
※3：温度補正、引張補正、たるみ補正後の計算値							